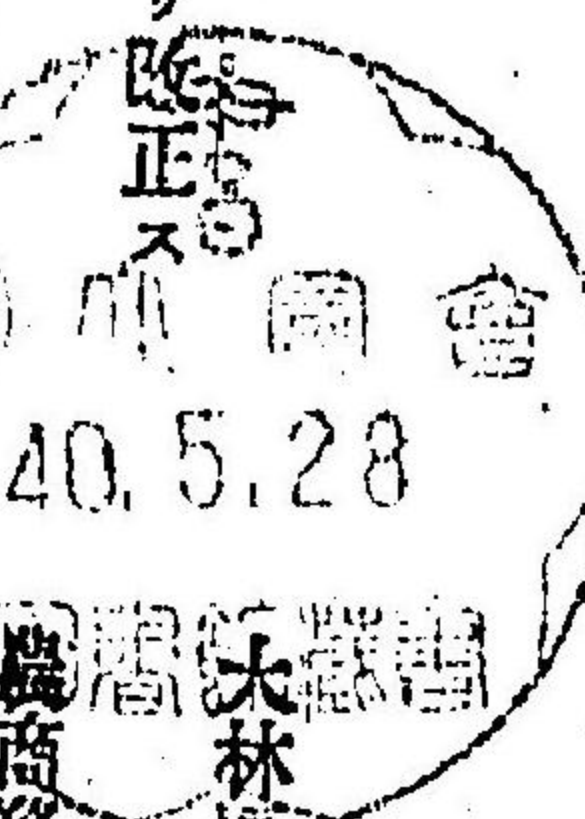


法令全書

訓令

○農商務省訓令第一號

二十五年八月營省第二十四號訓令左ノ通り改正ス



農商務大臣 伯耆後藤象二郎

二十四年八月大藏省訓令第六十八號及二十五年四月同省訓令第二十五號ニ據リ收入官吏ヨリ翌年度繰越計算表(訓令第二十九號表式)差出シタルトキハ該計算表ヲ集計シタル同書式ノ繰越總計算表ヲ添付シ翌年度九月二日迄ニ提出スヘシ

(参照)

農商務省訓令第二十四號明治二十五年八月三十一日抄録
二十四年八月大藏省訓令第六十八號ニ據リ收入官吏ヨリ翌年度繰越計算表(訓令第二十九號表式)差出シタルトキハ該計算表ヲ集計シタル同書式ノ繰越總計算表ヲ添付シ翌年度九月二十日迄ニ提出スヘシ

○農商務省訓令第二號

本年二月開會スヘキ勸業會ハ之ヲ休會ス

農商務大臣 伯耆後藤象二郎

北海道廳 府縣

○大藏省訓令第一號

明治二十五年二月大藏省訓令第十號歳入豫定計算書及月領金庫區分表ハ明治二十七年以降左ノ様式ニ據リ調製スヘシ

北海道廳 府縣 各税關

明治二十六年一月 訓令 農商務省第一號 第二號 大藏省第一號

手2万-45

C8
4

○大藏省訓令第二號
拾錢紙幣ハ明治二十三年法律第十三號ニヨリ本年二月二十七日限り引換期限満期ト相成候處方一
右期限ニ心付カサルモノ有之ヤモ難計候ニ付右ノ趣無漏管内人民ニ知ラシムル様取計フヘシ
明治二十六年二月二日
大藏大臣渡邊國武

北海道廳 府縣

○外務省訓令第一號

近來不長ノ徒各地ヲ徘徊シ甘言ヲ以テ海外ノ事情ニ疎キ婦女ヲ誘惑シ遂ニ種々ノ方法ニ因リテ海
外ニ渡航セシメ渡航ノ後ハ正業ニ就カシムルコトヲ爲サス却テ之ヲ強迫シテ醜業ヲ營マシメ若ク
ハ多少ノ金錢ヲ食リテ他人ニ交付スル者アリ之カ爲メニ海外ニ於テ言フニ忍ヒサルノ困難ニ陥ル
婦女追々増加シ在外公館ニ於テ救護ヲ勉ムト雖モ或ハ遠隔ノ地ニ在リテ其所在ヲ知ルニ由ナク困
難ニ陥レル婦女モ亦種々ノ障碍ノ爲メニ其事情ヲ出訴スルコト能ハサルモノ多シ依テ此等誘惑渡
航ノ途ヲ杜絶シ且ツ婦女ヲシテ妄リニ渡航ヲ企圖セシメサル様取計フヘシ
明治二十六年二月三日
外務大臣 陸奥宗光
内務大臣 伯爵井上 馨

警視廳 北海道廳 府縣

神佛各教宗派管長

○内務省訓令第一號
各教宗派部内事務ノ狀況左ノ書式ニ準シ毎半年ニ取調前半期ハ七月三十一日後半期ハ翌年一月三
十一日限り報告スヘシ
明治二十六年二月七日
内務大臣 伯爵井上 馨

神佛各教宗派管長

明治何年前後期某宗派事務狀況報告

書式

第一款 教務

明治二十六年三月 訓令 大藏省第二號 外務省第一號 内務省第一號

本款内ニハ管長及布教使ノ派出巡教並ニ教務會社設教所ノ設置廢合權信徒ノ員數増減及其狀況其他布教ニ關スル重要ノ事
件ヲ詳記スヘシ
（備考） 本文列記ノ事項ト雖トモ現ニ其部内ニ事實ノ存在セサルモノ例セハ神道各教派ニ於ル佐職僧侶ノ類ハ攝職ノ限リニ
アラス以下各款皆準之

第二款 布教

本款内ニハ管長及布教使ノ派出巡教並ニ教務會社設教所ノ設置廢合權信徒ノ員數増減及其狀況其他布教ニ關スル重要ノ事
件ヲ詳記スヘシ

第三款 學事

本款内ニハ大中小教校專門道場等ノ組織員數設置廢合並ニ授業師卒業生及現在學徒ノ員數及其狀況其他學事ニ關スル重要ノ事
件ヲ詳記スヘシ
右報告候也
年月日

内務大臣宛

某宗派管長氏名印

○内務省訓令第二號

明治二十三年十月當省訓令第三十六號第十三條左ノ通改正ス

北海道廳 府縣

明治二十六年二月七日

第十三條 公有水面ノ埋立使用ハ特ニ其處分ヲ委任シタルモノ及第九條ヲ除クノ外總テ意見ヲ具
シ地圖ヲ添ヘ本大臣ニ稟請スヘシ但公有水面ニシテ使用ノ慣行アルモノニ限り地方ノ狀況ニ依
リ特ニ其處分ヲ委任スルコトアルヘシ
其本大臣ノ指令ヲ得テ下付シタル命令書、設計書、圖面ハ又本大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ變
更スルコトヲ得ス

内務大臣伯爵井上 馨

〔參照〕

内務省訓令第三十六號(明治二十三年十月二十日)抄録
第十三條 公有水面ノ埋立使用ハ從來特ニ委任セシモノ及第九條ヲ除クノ外總テ意見ヲ具シ地圖ヲ添ヘ本大臣ニ稟請シテ
後處分スヘシ其本大臣ノ指令ヲ得テ下付シタル命令書、設計書、圖面ハ亦本大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ變更スルコトヲ
得ス

○大藏省訓令第三號

明治二十五年一月當省訓令第二號ハ自今廢止ス

北海道廳 府縣

明治二十六年二月七日

大藏大臣渡邊國武

〔參照〕

大藏省訓令第二號(明治二十五年一月十三日)
明治二十四年十月當省訓令第七十七號ニ據リ各省主管ヨリ當省主管ニ移換セル附收入ニ係ル歲入概算書ハ明治二十六年度
以降モ從來ノ通各主管者ヘ進達スヘシ
但内務省ニ係ル分ハ當省ヘ進達スヘシ

○大藏省訓令第四號

當省所管出納官吏身元保證金標準額及取扱手續自今別紙ノ通相定ム
但別紙ハ別ニ頒ツ

造幣局 稅關
北海道廳 府縣

明治二十六年二月二十二日

大藏大臣渡邊國武

出納官吏身元保證金標準額

現金前渡ヲ受クル官吏

(別紙)

取扱額	五百圓以上六百圓未満	百圓迄毎ニ	五拾圓	身元保證金額
	六百圓以上七百圓未満	同上	壹圓四拾錢ヲ加フ	
	七百圓以上壹萬圓未満	同上	五拾錢ヲ加フ	
	壹萬圓以上拾萬圓未満	同上	貳拾錢ヲ加フ	
	拾萬圓以上	同上	拾錢ヲ加フ	最高額ハ千圓ニ止ム
保證金額積算ノ上圓位以下ノ端數ハ切上クヘシ以下ノニ倣フ				
收入官吏	政府ニ屬スル歳入歳出外現金ヲ取扱フ出納官吏			
取扱額	五百圓以上七百圓未満	貳百圓迄毎ニ	四拾圓	身元保證金額
	七百圓以上壹萬圓未満	同上	壹圓拾五錢ヲ加フ	
	壹萬圓以上拾萬圓未満	同上	參拾錢ヲ加フ	
	拾萬圓以上	同上	拾五錢ヲ加フ	最高額ハ千圓ニ止ム
物品會計官吏				
取扱額	千圓以上千五百圓未満	五百圓迄毎ニ	貳拾圓	身元保證金額
	千五百圓以上壹萬圓未満	同上	貳圓ヲ加フ	
	壹萬圓以上拾萬圓未満	同上	五拾錢ヲ加フ	
	拾萬圓以上	同上	貳拾五錢ヲ加フ	最高額ハ千圓ニ止ム

印紙類會計官吏				
取扱額	千圓以上貳千圓未満	千圓迄毎ニ	貳拾五圓	身元保證金額
	貳千圓以上六千圓未満	同上	六圓ヲ加フ	
	六千圓以上壹萬圓未満	同上	五圓ヲ加フ	
	壹萬圓以上拾萬圓未満	同上	壹圓五拾錢ヲ加フ	
	拾萬圓以上	同上	七拾五錢ヲ加フ	最高額ハ千圓ニ止ム
取扱手續				
一	造幣局長税關長北海道廳長官府縣知事ハ出納官吏新置及交替又ハ其取扱額、保管額ニ増減アル時ハ各々其身元保證金額標準額ニ據リ身元保證金額ヲ定メ之ヲ當該出納官吏ニ達スヘシ			
二	造幣局長税關長北海道廳長官府縣知事ハ前項達濟ノ上ハ直ニ該出納官吏ノ官職姓名其就職ノ年月日、取扱額(圓以下端數ニ至ルマテ以下倣之)又ハ保管額及身元保證金額ヲ報告スヘシ但該官吏交替ノ場合ニ於テハ前職者ノ官職姓名及就職ノ年月日ヲ併テ報告スヘシ			
三	出納官吏身元保證金ヲ(會計規則第百三條但書)土地ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ所屬長官ニ申出其認可ヲ受クヘシ			
	所屬長官ニ於テ之ヲ認可シタルトキハ直ニ其土地ノ所在地名、地目、段別、地價等ヲ詳悉シ其旨報告スヘシ			
四	出納官吏(會計規則第百二條第二項)其身元保證金ノ免除ヲ請ハントスルトキハ其願書ニ保證人(住所職業ヲ記入シ)連署シ保證人ノ資産(其種目ヲ記シ)價格調書ヲ添ヘ所屬長官ヲ經由シテ當省ニ願出ヘシ			

五出納官吏解職其他ノ事故ニ由リ既納ノ身元保證金ノ拂戻ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證書ヲ差出スヘシ但身元保證金ニ對スル利子ノ交付ヲ受ケタルトキ亦本文ニ同シ

○陸軍省訓令甲第一號

師團司令部 近衛師團

北海道廳 府縣 沖繩縣

陸軍召集旅費支出規程第一條ノ臨時召集旅費概算表調査方本年ニ限り左ノ諸項ニ依リ取扱ハシム可シ

明治二十六年二月二十二日

陸軍大臣伯爵大山 熾

一 後備將校同相當官及下士兵卒若干ハ本籍師團ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其區畫ニ合記ス

一 近衛師團ニ屬スル後備下士兵卒若干ハ近衛師團充員ニ其殘餘ハ本籍所管ノ師團ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其區畫ニ合記ス

一 豫備後備輜重輪卒中若干ヲ近衛師團ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其區畫ニ合記ス

一 警備隊區在籍ノ後備將校同相當官及下士兵卒ハ警備隊ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其區畫ニ合記ス

一 輜重輪卒ニシテ要員ニ超過スル者ハ後備軍ノ區畫ニ合記ス

一 旅費ハ召集ノ種類及一郡市ニ在リテハ區畫ノ毎ニ現員十分ノ二ニ當ル金額ヲ加算スヘシ但シ其金額ハ現員中最モ遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ調査ス

一 船舶料等實費ヲ支給スルモノニシテ季節ニ依リ金額ニ高低アルモノハ其最高價ヲ以テ計算ス

一 概算表調査ニ要スル人名及ヒ召集地若クハ集地等ハ該表調製ニ差支ナキ樞大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヨリ島廳又ハ市郡區役所へ通報ス

〔參照〕

陸軍省令第五號陸軍召集旅費支出規程(明治二十五年三月二十九日採録)

第一條 陸軍臨時召集旅費ハ島司郡長以下同シハ市長市町長以下同シニ於テ毎年五月一日十二月一日ニ現在スルキ

其管内在籍ノ陸軍軍人及豫備隊員ヲ檢定シ之ニ要スル召集旅費ヲ計算シ臨時召集旅費概算表ヲ作り第一期ハ三月十五日

第二期ハ十月十五日迄ニ當隊大隊區司令部又ハ警備隊區司令部へ發送ス可シ

市長ハ前項概算表ノ外同時ニ臨時召集旅費入別簿ニ依リ作り之ヲ第八條ノ直稅分署長若クハ間稅分署長ニ送付ス可シ

○農商務省訓令第三號

北海道廳 府縣

明治二十五年四月 省訓令第九號ハ自今廢止ス

明治二十六年二月二十八日

農商務大臣伯爵後藤象二郎

〔參照〕

農商務省訓令第九號(明治二十五年四月五日)

明治二十六年以降其應取扱ニ係ル大藏省主管收入ノ内左ノ各目ハ別ニ定ムル所ノ調製順序ニ據リ貸入豫定計算書及貸入豫

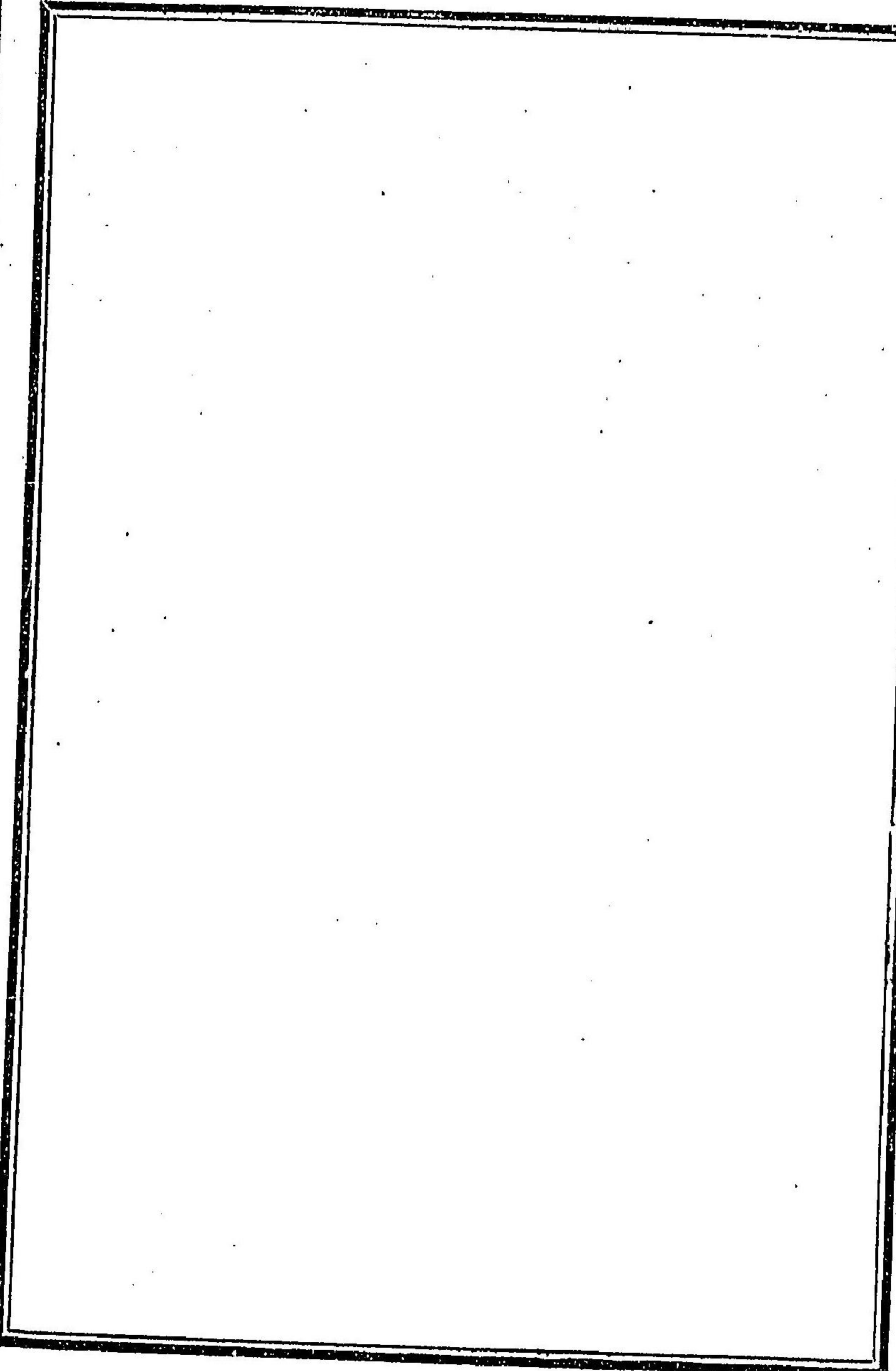
定計算月額金庫區分表ヲ調製シ前年度四月二十日迄ニ當省へ送付スヘシ

但從來送付シタル左ノ各目ノ貸入概算書及貸入概算月額金庫區分表ハ自今送付ニ及ハス

取引所仲買人免許料 米商會所仲買人認許料

株式取引所仲買人認許料

度量衡原器拂下代



○大藏省訓令第五號

北海道廳 府縣
出納官吏
金庫出納役

本年當省令第三號ヲ以テ製鐵費納金收入規程相定候ニ付右取扱順序ハ總テ明治二十三年當省訓令
第百十三號ニ準據シ製鐵費納金引去高トシテ整理スヘキ儀ト心得ヘシ
但官吏遺族扶助法納金アルモノハ明治二十三年當省訓令第百十三號第一號書式中國庫納金引去
高ノ次位ニ製鐵費納金引去高ノ項ヲ設ケ整理スルモノトス
明治二十六年三月一日
大藏大臣渡邊國武

〔參照〕

明治二十三年八月十日 大藏省訓令第百十三號ハ官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序ナリ

○陸軍省訓令甲第二號

師團司令部
北海道廳 府縣沖繩縣ヲ除ク

明治二十五年六月勅令第四十九號ニ依リ本年四月一日近衛諸隊ニ入營スヘキ縫工靴工ハ近衛師團
長師營毎ニ適宜集合地及集合時日ヲ定メ各師團長ニ通報シ新兵受領員ヲ派遣シテ受領セシム可
シ
各師團長ハ近衛師團長ノ通報ニ應シ適宜ノ方法ヲ以テ右職工ヲ近衛新兵受領員ニ交附セシム可シ
明治二十六年三月二日
陸軍大臣伯耆大山 煇

○陸軍省訓令甲第三號
北海道廳 府縣沖繩縣ヲ除ク
明治二十五年四月陸軍省訓令甲第四號中「三名ヲ二名ニ改ム」ニ改ム
明治二十六年三月七日
陸軍大臣伯耆大山 煇

明治二十六年三月 訓令 農商務省第四號 大藏省第六號

〔參照〕

陸軍省訓令第四號(明治二十五年四月五日)抄録
 徴兵事務條例第十八條ノ徴兵醫官補助員ノ定員ハ一徴募區ニ三名トス但實際ノ便宜ニ依リ數徵募區ヲ通シテ同一人ヲ採用スルコトヲ得

○農商務省訓令第四號

明治二十四年ハ農商務省訓令第三十五號第十二條ニ左ノ一項ヲ追加ス

北海道廳 府縣

明治二十六年三月八日

地方長官ハ桿秤ノ取替ノ修葺ヲナシタル箇數ヲ各製作所、修葺所及販賣所ニ區別シ前項ニ定ムル期限ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

〔參照〕

農商務省訓令第三十五號(明治二十四年八月十九日)抄録
 第十二條 地方長官ハ左ノ書式ニ依リ前年四月ヨリ其ノ年三月ニ至ル一箇年間ノ度量衡檢定成績表ヲ調製シ毎年五月十日マテニ農商務大臣ニ報告スヘシ(書式略ス)

○大藏省訓令第六號

明治二十六年度以降内國稅徵收費科目在ノ通之ヲ定ム

府 縣

大藏大臣渡邊國武

内國稅徵收費科目		款	項	目	節	解	疏
内國稅徵收費	俸給及諸給						
	收稅長俸給						

内國稅徵收費科目		款	項	目	節	解	疏
内國稅徵收費	俸給及諸給						
	收稅長俸給						
	判任俸給						
	收稅屬						
	見習						
	(附員)						
	非職俸給						
	何官						
	退官賜金						
	死亡賜金						
	恩與						
	(官吏費與)						
	修繕費						
	各所修繕						
	所得稅調查費						
	所得稅調查費						
	手						
	旅						
	雜						
	市町村交付金						

明治二十六年三月 訓令 大藏省第六號

市町村交付金	滞納及犯刑者處分費	滞納處分費	旅費	差押調書及差押調書複製費	通信費	押取人看守人及贖取人給料	差押物件運搬保管及差押物件	公費	差押物件買上代	督促令狀送達費	犯刑者處分費	雜給	川紙及印刷費	通信運搬費
			旅費收入官吏滞納處分出張旅費	差押調書、實却調書ノ用紙代及印刷費	郵便物、郵便物ノ用紙代及印刷費	押取人、看守人、贖取人ノ給料	差押物件運搬保管ノ用紙代及印刷費、差押物件運搬ノ用紙代及印刷費、保管料、家賃、燃料、食料、洗濯料、雑費、差押物件買上代ノ用紙代及印刷費、新調紙廣管	差押物件買上代ノ用紙代及印刷費、新調紙廣管	督促令狀送達ノ用紙代及印刷費	犯刑者處分ノ用紙代及印刷費	雜給ノ用紙代及印刷費、通信書送達ノ用紙代及印刷費	川紙、印刷費、通信書送達ノ用紙代及印刷費	通信運搬ノ用紙代及印刷費	通信運搬ノ用紙代及印刷費

印紙類納費	印紙製造費	小切手押印費	印紙買戻金	鑑札製造費	運搬及入足費	旅費	内國旅費	赴任旅費	管外旅費	管内旅費	土地検査旅費	間税検査旅費
印紙製造費	小切手押印費	印紙買戻金	鑑札製造費	運搬及入足費	旅費	内國旅費	赴任旅費	管外旅費	管内旅費	土地検査旅費	間税検査旅費	間税検査旅費
保管料(印紙代共)及保存ノ為メ要スル諸費(印刷費、保管料等)	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費
訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費	訴訟入費

沖繩縣稅品取扱	
運搬費	通信運搬費中運搬費ノ解除ニ同シ
段布延尺買上代	紺細土布延尺買上代
備入給料	預備鑑定人訂置入、替置入、預取入、備入給料及備品取扱ニ要スル人足價等
家屋其他借料	税品課税料契約上ヨリ要スル修繕費共
廣告料	税品賣捌ニ要スル新聞紙廣告料
器具器種	税品課税料検査及賣捌上ニ要スル器具器種ノ類
雜費	寫字及算入料 家屋其他借料 廣告料 食料 舟船 道路疏水等手當 雜品費
除税費	一般ノ寫字及算入生但被數當リヲ以テ支給スルモノニ限ル 新製金物、漆器、磁器、雜品、門札、家札、風呂敷、土履、下駄等ノ類 而納税分及同課税品取扱者處分ノ別松費但官吏出張ノ旅費モ此日ニ編入ス

○内務省訓令第三號

明治二十二年舊省訓令第四十三號支出證明規程第十四條建築及治水工事ニ屬スル竣功明細書々式但別冊ハ別ニ頒ツ (別冊略ス)

明治二十六年三月十一日

内務大臣 伯耆井上 馨

府 縣

○大藏省訓令第七號

明治二十六年度以降内國稅徵收費配賦取扱順序左ノ通之ヲ定ム

大藏大臣 渡邊 國武

明治二十六年三月十一日

第一條 内國稅徵收費配賦取扱順序

- 第一類費
- 一 收稅長俸給
 - 二 判任俸給
 - 三 内國旅費
 - 四 備入料
 - 五 廳費
- 第二類費
- 一 所得稅調査費
 - 二 各所修繕
 - 三 滞納及犯則者處分費

明治二十六年三月 訓令 内務省第三號 大藏省第七號

- 四 内國旅費
- 五 備人料
- 六 印紙鑑札類諸費
- 七 沖繩縣稅品取扱費

土地検査ニ要スル旅費
土地検査ニ要スル人足賃
鑑札製造費 運搬賃 荷造費 共

第三類費

- 一 退官賜金
- 二 死亡賜金
- 三 市町村交付金
- 四 印紙買戻金
- 五 訴訟費

第二條 第一類費ハ豫算年額ヲ定メ之ヲ配賦ス

第三條 第二類費ハ所要ノ年額見込明細書及金庫月別任課書ヲ製シ四月十日以内ニ請求スヘシ

第四條 第三類費ハ支出ヲ要スル毎ニ精算金額明細書ヲ製シ之ヲ請求スヘシ

第五條 第一類費中應費豫算配賦額ハ之ヲ各自ニ分配シ豫算配賦後十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第六條 第一類費ハ直稅署間稅署直稅分署間稅分署ニ計畫區分シ適宜帳簿ヲ備ヘ其收支ヲ詳記スヘシ但此區分シ難キ費用アルトキハ見込ヲ以テ區分スヘシ

前項當初ノ計畫ハ各自限ノ金額ヲ四月二十日限主稅局ニ報告スヘシ

第七條 豫算配賦額各項中目ノ金額彼此流用ヲ要スルトキハ流用ノ上前期從四月後期從三月ノ二期ニ區分シ前期ハ十月十五日以内後期ハ四月十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ但報告書ハ各自ニ付過不及ヲ生スル金額理由及現豫算額仕拂命令未濟額ヲ記載スヘシ

第八條 第二類費第四第五第七及特ニ費途ヲ指定シ配賦シタル費用ハ剩餘ヲ生スルモ許可ヲ得ル

ニアラサレハ他ニ流用又ハ轉用スルヲ得ス

第九條 第二類費第一第三第六ノ豫算配賦額ニ不足ヲ生シタルトキハ其所要ノ精算金額明細書ヲ製シ増額ヲ請求スヘシ但第三ニ限り精算金額ヲ以テ請求シ難キトキハ其理由ヲ詳悉シ見込金額明細書ヲ以テ請求スルコトヲ得

第十條 各自又ハ特ニ費途ヲ指定シ配賦シタル金額精算上剩餘ヲ生シ又ハ生スヘキ見込確定シタルトキハ其時々金額ヲ報告スヘシ

(第九條明細書々式)

何々(項)請求計算書

科	目	現配賦額	仕拂命令済額	仕拂命令未済額	請求額
何々(項)					
何々(目)					
何々(目)					

事山 一何々(目)請求額若干ハ何々(費目)及其金額算出ノ基點ヲ詳記スルモノトス

備考 一仕拂命令未済額アルトキハ其未済ノ理由ヲ備セニ掲記スルモノトス

○大藏省訓令第八號

明治二十三年 大藏省訓令第三十四號備置備蓄金取扱順序第二條第五條第九條中公債證書トアルヲ國債證書ト改ム

明治二十六年三月十三日

内務大臣 伯耆井上 啓
大藏大臣 渡邊國武

〔參照〕

大藏省訓令第三十四號 府縣儲蓄金取扱順序 明治二十三年三月十四日 抄録
 第二條 府縣儲蓄金ノ内現金ヲ銀行等ヘ預ケ入ラヌトキハ其金額ニ對スル抵當ヲ要スヘキハ勿論其抵當ハ公債證券ヲ取
 置クヘシ
 第五條 米穀ノ貯積スル爲メ倉庫ヲ建築シ及倉庫料番人給料等ニ係ル諸費用ハ地方官ニテ是レヲ負擔スルニテ米穀公債證券ノ賣買等ニ
 關スル諸雜費及損失ヲ府縣儲蓄金ノ内ヨリ支辨スルノ方法ヲ設ケントスルトキハ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ
 第九條 府縣儲蓄金ノ出納ハ便宜ニ從ヒ出納簿 領收簿 借入金簿 貸出金簿 貸付金簿 貸付金簿 貸付金簿 貸付金簿
 等ヲ用テ對シ區々當ニ其會計ヲシテ明瞭ナラシムヘシ

○農商務省訓令第五號

民有原野ノ内町村有共他共有ニ屬スル分左表ニ依リ取調來ル五月三十一日限リ本省ヘ差出スヘシ
 明治二十六年三月十四日 農商務大臣 伯耆後藤象二郎

民有原野共有調査表
 郡名 共有區別 箇所 段別 地價
 一町村共有
 數町村共有
 一大学共有
 數大学共有
 數名共有

○大藏省訓令第九號

北海道廳 府縣
 出納官吏
 金庫出納役
 明治二十三年當省訓令第百十三號及本年當省訓令第五號ニ據リ官吏遺族扶助法納金額ト製鐵費納
 金額トヲ併シテ金庫ヨリ收入官吏ヘ報告スル場合ハ之カ報告表ハ左ノ書式ニ據リ調製スヘシ
 但本年當省令第三號第二條第三項ノ納金額表及明治二十三年當省訓令第百十三號中納金額表

法納金及製鐵費納金收入報告表

(第三號) 本文書式ニ準シ調製スヘシ
 明治二十六年三月十五日 大藏大臣 渡邊 國武 (印章ハ朱)

領主氏名	收入金額				取扱	備考
	官吏 補助	遺族 扶助	製鐵 費金	納金		
某某		0500	5000		某某	
		1000	10000			
		1500	15000			

何年何月何日 何地金庫國
 收入官吏官氏名宛

某年度歳入官吏道候扶功

所管廳	之要		官名
	命書	番號	
某 某	二十六年度仕拂命令	第一號	某 某
	二十六年度集令仕拂命令	第二號	

○農商務省訓令第六號

月額ヲ以テ支給スル備員係給ハ自今毎月二十三日ニ休日ニ當ルト之ヲ支給スヘシ

大林区署

○大藏省訓令第十號

北海道廳 府縣
金庫出納役

明治二十二年當省訓令第七十二號金庫出納事務規程同二十三年當省訓令第十五號金庫相互間回送金振換金取扱順序及同二十三年當省訓令第二百二十七號大阪本金庫各本金庫間振換金取扱順序中左ノ通削除改正シ本年四月一日ヨリ施行ス

明治二十六年三月十七日

大藏大臣渡邊國武

金庫出納事務規程ノ部

第三百三條第一項中「現金殘高表」トアルヲ「出納内譯書」ト改ム

第三百五條中「支金庫」トアル下ニ「出納内譯書」ノ五字ヲ加フ

第三百八條中「現金殘高表」トアルヲ「出納内譯書」ト改ム

第三百九條中「支金庫」毎月未現金殘高表ノ十一字ヲ削ル

第三百十條ノ第二ヲ削ル

第三百十一條第一項ヘ左ノ但書ヲ加フ

但金貨壹分銀アル場合ハ摘要中現在金ニ内譯ヲ以テ區分記入スヘシ

第三百十二條ヲ削ル

金庫相互間回送金振換金取扱順序ノ部

第九條第二項ヲ左ノ通改ム

本金庫ヲシテ其所在地外ノ受取人ニ向ケ振換拂ヲ爲サレムル場合ニハ甲號振換拂證書(甲號ノミ
ホス)ニ共旨ヲ記入シ之レヲ該本金庫ヘ送付スヘシ

第十條第二項中「乙」ノ字及第十一條中但書ヲ削ル

第十二條第一項ヲ左ノ通改ム

第十一條ノ電信ヲ受ケタル本金庫ハ正當受取人ヨリ仕拂命令官ノ發シタル電信ヲ差出サレメ該
電信ト中央金庫ヨリ發シタル電信ノ金額氏名トヲ對照シ正當ナリト認ムルトキハ受取人ヨリ領

第十一條ノ電信ヲ受ケタル本金庫ハ正當受取人ヨリ仕拂命令官ノ發シタル電信ヲ差出サシメ該電信ト中央金庫ヨリ發シタル電信ノ金額氏名トヲ對照シ正當ナリト認ムルトキハ受取人ヨリ假領收證書ヲ發シテ現金ヲ交付シ追テ受取人ヨリ甲號換據證書ヲ得テ假領收證書ヲ返戻スヘシ

第十八條 各地本金庫ニ於テ郵便電信局又ハ郵便局ヨリ第十三條ニ據リ受入タル金額ニ依リ其代リ金ヲ電信ヲ以テ中央金庫ニ於テ仕拂ヲ受ケタキ旨ノ請求アルトキハ振換納金受入レ先キノ局名金額振換受入證書ノ番號年月日トモ中央金庫ヘ電報スヘシ

前項電報ヲ爲シタルモノト雖トモ甲乙號振換受入證書ヲ製シ之レニ電信ニテ渡附ノ旨ヲ記入シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第十九條 中央金庫ニ於テ第十八條ノ電信ヲ得タルトキハ該電信ヲ以テ乙號振換受入證書ト見做シ逕信省爲替貯金局長ノ領收證書ニ對シ現金ヲ交付スヘシ

第二十二條 中央金庫ニ於テ第十九條ニ據リ電信ヲ以テ現金ヲ仕拂フタル逕信省爲替貯金局長ノ領收證書ハ追テ同局長ヨリ送付スル甲號振換受入證書ト交換スヘシ

大藏省訓令第百二十七號大阪本金庫各本金庫間振換金取扱順序(明治二十三年九月十日)抄録

第三條第二項

當該本金庫ヲシテ其所在地外ノ受取人ニ向テ振換拂ヲ爲サシムル場合ニハ甲乙號振換據證書ニ其旨ヲ記入シ振換據證書甲乙號共之レヲ該本金庫ヘ送付スルモノトス

第五條 各地本金庫ニ於テ大阪本金庫ノ振換據證書又ハ電信振換據證書ノ通帳ヲ受ケタルトキハ金庫相互間送金振換金取扱順序第十條及第十二條ニ準據シ取扱フヘシ但受取人ヘ現金ヲ交付シタルトキハ豫テ會計主務官ヨリ同付アル規定ノ領收證書ヲ發シ之ヲ大阪本金庫ヘ送付スルモノトス

第九條 各地本金庫ニ於テ毎月別振換據證書ヲ月計對照表ヲ開製シ翌月五日迄ニ大阪本金庫ヘ送付スルモノトス大阪本金庫ニ於テハ前項月計對照表ヲ得テ振換據證書原符ニ對照シ該原符ヘ「振換據證書」ノ印ヲ捺シ該對照表(式)ノ如ク證明シテ之レヲ中央金庫ヘ送付スルモノトス

(第二號式ハ振換拂出金月計對照表ナリ)

○大藏省訓令第十一號 出納官吏

出納官吏身元保證金ヲ納付スヘキ義務アルハ明治二十二年法律第四號會計法第二十八條及明治二十三年勅令第四號第一條ニ依リ其取扱金額一箇年五百圓以上又ハ常時保管スル物品ノ價格千圓以上ニ達スルモノハ同號第二條ニ依リ就職ノ時即納スヘク又追納増納ノ場合ニ於テハ明治二十二年勅令第六十號會計規則第八條第九條ニ依リ一定ノ期限内ニ納付スヘキ筋ナルニ付萬一脱漏アルニ於テハ出納官吏ノ職務ヲ執ルヲ得サル儀ニシテ知ラズ違法ノ所爲ニ陷ルルコトモ可有之就テハ各出納官吏現金取扱額及物品保管價格ノ概定高ハ本廳大臣ニ於テ指定ノ上身元保證金納付義務ノ有無通達アルヘキ旨ナレトモ尙ホ各自ニ於テモ其算出方等左ノ通和心得不都合無之様注意致スヘシ

明治二十六年三月二十三日 大藏大臣渡邊國武

ルニ於テハ出納官吏ノ職務ヲ執ルヲ得サル儀ニシテ知ラズ違法ノ所爲ニ陷ルルコトモ可有之就テハ各出納官吏現金取扱額及物品保管價格ノ概定高ハ本廳大臣ニ於テ指定ノ上身元保證金納付義務ノ有無通達アルヘキ旨ナレトモ尙ホ各自ニ於テモ其算出方等左ノ通和心得不都合無之様注意致スヘシ

明治二十六年三月二十三日 大藏大臣渡邊國武

一明治二十三年勅令第四號第一條ノ取扱金額ハ現金出納簿ノ受入高ニ依リ算出シ又物品ノ價格ハ物品出納簿受入ノ高ヨリ拂出ノ高ヲ差引タル一箇年間毎月末ノ平均變高ニ依リ算出スヘシ

一明治二十三年勅令第四號第一條ノ現金ノ領收ヲ常職トスル官吏トハ或ル特定事件ノ爲メニ一時限リ現金領收ヲ命セラレタル者ヲ除キ總テ現金ノ領收ヲ爲スヘキ資格アル者ハ平常現金ノ領收アルト否トニ拘ハラズ總テ包含シ又常時現金前渡ヲ受クル官吏トハ常ニ現金前渡ヲ受ケ居ル者ヲ云フ臨時命ヲ受クル者ヲ包含セシ

一出納官吏職ヲ兼務シ各職毎ニ區分シテ身元保證金ヲ納ムルハ出納簿ノ補助簿ニ依リ算出シ若シ補助簿ノ設ケナキトキハ出納簿ニ依リ種類ヲ區分シテ算出スヘシ

一明治二十三年勅令第五十三號官立學校及圖書館會計規則第二十條第三項ニ依リ現金前渡ヲ受クル官吏ハ其取扱金額一箇年五百圓未滿ト雖トモ身元保證金納付ノ義務アリ

(參照)

法律第四號會計法(明治二十二年二月十一日)抄録

第二十八條 現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ルニ付身元保證金ヲ納ムシムルコトヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

勅令第六十號會計規則(明治二十二年五月一日)官報抄録

第八條 出納官吏ハ其身元保證金ヲ以テ損失金ノ辨償ニ充テラレタルカ爲メ其身元保證金額定規ノ高ヨリ減シタルトキハ各省大臣ノ指定シタル期限内ニ其減少高ヲ追納スヘシ期限ヲ過シ追納ヲ爲ササルトキハ其職務ヲ執ルコトヲ得ス

第九條 出納官吏職其他ノ事故ニ由リ身元保證金ノ増納ヲ要スルトキハ其轉職者トハ事故ノ生シタル日ヨリ起算シ六箇月以内ニ追納スヘシ期限ヲ過シ追納ヲ爲ササルトキハ其職務ヲ執ルコトヲ得ス

明治二十六年三月 訓令 大藏省第十一號

勅令第四號(明治二十三年一月二十日官報)抄録
第一條 左ノ出納官吏ニシテ其取扱金額一箇年五百圓以上又ハ當時保管スル物品ノ價格千圓以上ニ達スルモノハ身元保證金ヲ納ムヘシ但兵備品ノ出納ヲ取扱フ武官ハ本條ノ限ニアラス

第一 現金ノ領取ヲ常職トスル官吏

第二 當時現金前渡ヲ受クル官吏

第三 物品會計官吏

第二條 身元保證金ハ就職ノ時納付スヘキモノトス但現ニ明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニ限リ明治二十三年四月以後明治二十八年三月マテ五箇年間ヲ期シ其身元保證金額ヲ平分シ毎年四期又ハ毎月ニ之ヲ納付セシムヘシ
前項明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニシテ土地若クハ公債證書ヲ以テ身元保證金ニ代用セントスル者ハ明治二十三年九月マテニ一時ニ納付セシムヘシ

勅令第五十三號官立學校及圖書館會計規則(明治二十三年三月二十八日官報)抄録
第二條第三項

學術試驗標準本品購入費獎學費生徒費事務費ニ限リ所管大臣ノ定ムル所ニ依リ身元保證金額ノ二倍ヲ極度トシ學校會計主任ノ官吏ニ現金ノ前渡ヲナスコトヲ得

○文部省訓令第一號

府縣 沖繩縣

明治二十三年十月法律第九十號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ依リ明治二十七年年度以降國庫給與金ヲ交付スヘキニ付テハ左ノ書式ニ依リ毎年度豫算調書ヲ調製シ前年度五月三十一日限リ當省ヘ差出スヘシ

明治二十六年三月二十三日

文部大臣 井上毅

(書式)

明治何年度小學校教員恩給國庫給與金豫算調書

一金若干

右ハ市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法第十四條第二項及第三項ニ依リ前々年度即チ明治何年度ニ於テ實收シタル金額若干ノ四分ノ一二當ル

右ノ通ニ候也

年月日

文部大臣宛

何府縣知事 氏 名 印

○大藏省訓令第十二號

北海道廳 府縣

明治二十四年四月大藏省訓令第三十八號大藏省所管經費歳出經常部恩賞諸祿改正科目節ノ内退官恩給退職恩給免除恩給退役恩給ノ上ヘ何レモ定年ノ二字ヲ冠ス
明治二十六年三月二十五日 大藏大臣 渡邊國武

○文部省訓令第二號

北海道廳 府縣

明治二十四年文部省訓令第七號中學費ノ支給方法ハ自今文部大臣ノ認可ヲ受クルヲ要セス處分ノ後報告スヘシ
明治二十六年三月二十九日 文部大臣 井上毅

(參照)

文部省訓令第七號(明治二十四年十一月十七日抄録)
明治十九年四月勅令第十三號師範學校令第九條ニ依リ尋常師範學校ニ於テ支給スヘキ生徒ノ學費ハ食物 被服及雜費ノ三種トシ其支給方法ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定メ大臣ノ認可ヲ經ヘシ但明治二十五年年度ニ在リテハ其經費豫算ノ決定シタルモノハ本文ニ依ルノ限ニ在ラス

○遞信省訓令第一號

北海道廳

船舶衝突乗揚等ノ原因ニ依リ沈没若クハ破壊シ又ハ乘客若クハ乘組員死傷シタル場合ニ在テハ本年三月當省令第五號ニ依リ海難取調ノ完結スルト否トニ拘ハラヌ沈没若クハ破壊ノ原因、日時、場所、船名、死傷人ノ員數等電報ニテ直チニ届出ツヘシ
明治二十六年三月二十九日 遞信大臣 伯耆黒田清隆

○内務省訓令第四號
府縣ノ分合又ハ管轄替ニ依リ巡查看守等甲屬ヨリ乙屬ニ引繼キ勤務スル者ハ勸績トシ明治十五年
月當省達乙第三號ニ依リ滿年賜金ヲ支給スルノ限リニアラス
明治二十六年四月一日
内務大臣 伯耆井上 馨

〔参照〕

内務省乙第三號達(明治十五年二月二十日)抄録
巡查監獄看守等經濟ヲ興ニスル向ヘ轉任スル節ハ一旦打切滿年賜金ヲ給スヘク此旨相達候事

○大藏省訓令第十三號

沖繩縣

二十四年度及二十六年度歳出經常部恩賞諸縣沖繩縣諸縣ノ目節左記朱書ノ通更正ス

大藏大臣 渡邊 國武

(内ハ朱書)

二十四年度歳出經常部

款	項	目
恩賞諸縣	沖繩縣諸縣	
		「沖繩縣寺院役知役俸」
		「沖繩縣僧侶飯米」

二十六年度歳出經常部

「沖繩縣寺院ノ目ヲ上記ノ二目ニ更シ」

款	項	目	節
恩賞	沖繩縣	「沖繩縣守」	「役知」
諸			「役作」
隊			

「沖繩縣守」は知役作ノ目ヲ更メ同目中ニ節ヲ設ケ

府 縣

○大藏省訓令第十四號

明治二十五年六月 省訓令第三十七號内國稅徵收費所屬物品出納規程第四條左ノ通改メ四月十五日

ヲ施行ス

明治二十六年四月六日

大藏大臣 渡邊國武

第四條中必要ノモノハノ下ニ「各員又ハ各部員ニ對シ每一箇月定額ヲ以テ仕拂若クハ」ノ二十四字ヲ挿入シ但書末文ヲ「爲サシムヘシ」トアルヲ「爲サシメ定額渡ノ物品ニシテ年度末ニ至リ殘餘ヲ生シタルトキハ之ヲ返納セシムヘシ」ト改メ

〔參照〕

大藏省訓令第三十七號内國稅徵收費所屬物品出納規程(明治二十五年六月十八日)抄録
第四條 消納品中日常必要ノモノハ一箇月以内ノ期限ヲ定メ需用概算高ヲ以テ支拂フコトヲ得但概算渡ノ物品ハ遺拂概算ヲ爲サシムヘシ

○農商務省訓令第七號

農事試驗場處務規程左ノ通相定ム

農事試驗場

明治二十六年四月十二日

農商務大臣 伯耆後藤象二郎

農事試驗場處務規程

第一條 農事試驗場ハ左ノ事項ニ付農産ノ増殖改良ヲ圖ルヘシ

- 一 農作物及牧草種類ノ撰擇
 - 二 撰種
 - 三 耕耘
 - 四 栽植
 - 五 肥培
 - 六 耕地ノ改良
 - 七 收穫及貯藏ノ方法時期
 - 八 農産物製造ノ方法
 - 九 農具
 - 十 植物病蟲害ノ驅除豫防
 - 十一 有益蟲ノ保護繁殖
 - 十二 家畜家禽ノ飼育肥膩
 - 十三 巡回講話
 - 十四 種苗ノ配付
 - 十五 土質種子肥料飼料等ノ分析鑑定
- 第二條 農事試驗場長ハ官制ノ定ムル所ニ隨ヒ主管事務ノ整理ニ付其責ニ任ス
- 第三條 支場長ハ場長ノ指揮監督ヲ受ケ支場全般ノ事務ヲ處理スヘシ
- 第四條 場長又ハ支場長事故アルトキハ所部ノ官吏ニ代理ヲ命ジ又ハ主管事務ノ幾分ヲ委任シ自

己ノ名義ヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトヲ得

第五條 場長又ハ支場長ハ所部官吏ノ歸省看護墓參轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第六條 場長ハ事務整理ノ爲メ經伺ノ上場中處務細則ヲ設クルコトヲ得

第七條 本大臣ニ經伺又ハ報告ヲ要スヘキ事項ハ總テ農務局長ヲ經由スヘシ

第八條 場長ハ試験ノ順序方法及其分任擔當ヲ定メ農務局長ノ承認ヲ受ケヘシ

第九條 試験成績ハ各擔任者ニ於テ試験終了ノ日ヨリ三十日以内ニ本場ハ場長ニ支場ハ支場長ニ報告スヘシ

支場長ハ試験成績ヲ査閱シ二十日以内ニ場長ニ報告スヘシ

第十條 場長ハ試験成績ヲ審査編纂シ毎年二回本大臣ニ報告スヘシ

第十一條 農談會品評會共進會等ノ爲メ旅費ヲ支辨シ場員ノ出張巡回ヲ申出ツル者アルトキハ本

場ニ於テハ場長之ヲ許否シ其旨ヲ場長ニ報告スヘシ

他ハ支場長之ヲ許否シ其旨ヲ場長ニ報告スヘシ

場長又ハ支場長ノ出張ヲ要スル場合ニ於テ日數十日以内ナルトキハ其旨ヲ本大臣ニ報告シ十日

ヲ超ユルトキハ本大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第十二條 前條ニ於ケル場合ヲ除クノ外場務ノ爲メ場員ノ出張巡回ヲ要スルトキハ場長ハ本大臣

ノ認可ヲ受ケヘシ

第十三條 場長ハ毎年四月中前年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ係ル本場及支場員ノ出張巡

回ノ日數度數場所及理由ヲ本大臣ニ報告スヘシ

第十四條 分析鑑定ノ求ニ應シ其結果ヲ依頼者ニ通知スルトキハ場長又ハ支場長ハ各共擔任者ト

共ニ通知書ニ署名スヘシ

第十五條 農事ニ關スル質問ハ場長又ハ支場長ニ於テ必要ト認ムルモノニ限リ應答スヘシ

第十六條 本場及支場ニ於テハ各六名以内ノ見習生ヲ入場セシムルコトヲ得

見習生ノ費用ハ自辨タルヘシ

見習生ノ入場ニ關スル規定ハ場長之ヲ定ムヘシ

○内務省訓令第五號

明治二十六年度當省所管農出科目別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒付ス(別冊略ス)

明治二十六年四月十七日

○大藏省訓令第十五號

明治二十三年當省訓令第十號別冊第十四號地租受帳様式中翌年分繰上地租及調定額納期ノ欄

隨時收入ニ係ル分及凡例第六項尤モ以下第七項第九項ヲ削除シ同二十四年當省訓令第七十五號國

稅賦課現計書甲第二號様式中翌年分賦課ノ項及凡例第三項同第三號様式凡例第十六項ヲ削除ス

但明治二十六年度分ヨリ本訓令ニ據リ調製スヘシ

明治二十六年四月十七日

大藏大臣渡邊國武

○文部省訓令第三號

明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ依リ明治二十七年年度以

降國庫給與金ヲ交付スヘキニ付テハ本年三文部省訓令第一號ニ依リ毎年度豫算調書ヲ差出スヘシ

明治二十六年四月十七日

文部大臣井上毅

内 國 旅 費

水産調査所

○農商務省訓令第九號
水産調査所處務規程左ノ通相定ム

明治二十六年四月二十八日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

水産調査所處務規程

- 第一條 水産調査所ハ左ノ四部ニ分チ調査及試験事務ヲ分掌ス
- 第一部 水産動植物ノ調査並水産物繁殖ノ試験
- 第二部 遠洋漁業及漁具漁船漁法漁場ノ調査並漁撈試験
- 第三部 製鹽及水産物製造ノ調査並試験
- 第四部 水産物ノ販路漁業經濟統計並水産ニ關スル慣行ノ調査
- 第二條 各部ニ主任一人ヲ置ク部内ノ調査及試験事務ノ整理ニ従事ス
但本大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ更ニ各部ニ監督ヲ置クコトアルヘシ
- 第三條 水産調査所事務官ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ノ整理ニ付其實ニ任ス
- 第四條 事務官ハ事務整理ノ爲メ農商務大臣ニ經伺ノ上處務細則ヲ設ケ所中處務ノ分掌ヲ命スルコトヲ得
- 第五條 事務官ハ水産調査委員會委員長ト協議シ左ノ事項ヲ處決スヘシ事務官委員長意見ヲ異ニスルトキハ農商務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ
 - 一 調査係員及試験係員ノ擔任事項
 - 二 調査係員及試験係員ノ出張巡回
 - 三 調査及試験ノ報告ニ關スル事項
 - 四 委員ノ決議ニ依リ委任ヲ得タル事項

第六條 事務官事故アルトキハ委員中ノ農商務省高等官ニ代理ヲ命シ又ハ主管事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトヲ得

第七條 調査及試験ノ順序方法ハ本大臣ニ於テ指定シタル取調委員ノ評議ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第八條 調査及試験ノ成績ハ各擔任者ニ於テ其結了ノ日ヨリ三十日以内ニ所屬部主任ヲ經由レテ事務官ニ報告スヘシ

第九條 各部主任ハ毎三月ニ部員ノ調査及試験ノ經過ヲ事務官ニ報告スヘシ

第十條 事務官ハ調査及試験ノ經過並ニ成績ヲ審査編纂シテ毎年二回農商務大臣ニ報告スヘシ

○文部省訓令第四號

公立學校生徒ニシテ其學校職員ニ辭職ヲ勸告シ又ハ上司ニ對シ其學校職員ノ免職轉職ヲ要請スルモノハ學校ノ紀律ニ背クモノトシ當該學校ニ於テ用非ル所ノ懲罰ノ例規ニ照シ嚴重ノ處分ヲ爲スヘシ

北海道廳 府縣

明治二十六年五月二日

文部大臣井上毅

○文部省訓令第五號

文部省直轄學校學生生徒ニシテ其學校職員ニ辭職ヲ勸告シ又ハ上司ニ對シ其學校職員ノ免職轉職ヲ要請スルモノハ學校ノ紀律ニ背クモノトシ當該學校ニ於テ用非ル所ノ懲罰ノ例規ニ照シ嚴重ノ處分ヲ爲スヘシ

文部省直轄學校

明治二十六年五月二日

文部大臣井上毅

○農商務省訓令第十號

本年三月農商務省訓令第六號中毎月ノ下二十三日ニ「トアル」ヲ「文官俸給支給定日」ト同日ニ「ト改メ該訓注ヲ削除ス

大林區署

明治二十六年五月三日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

〔參照〕

農商務省訓令第六號(明治二十六年三月十六日)抄録
月額ヲ以テ支給スル俸給ハ自今毎月二十三日ニ「ト改メ」ト下ケテ之ヲ支給スヘシ

○大藏省訓令第十七號

明治二十三年二月大藏省訓令第十八號會計主務官心得第二十八條中第三項ヲ削除ス

會計主務官

明治二十六年五月十日

大藏大臣渡邊國武

第六條 納入告知書ハ左ノ區分ニ依リ當該收入官吏ニ交付シ收入官吏ヲシテ納入ニ交付セシムヘシ
 一 小林區署管轄内ヨリ起ル收入ハ當該小林區署收入官吏ニ交付ス
 二 延納金賠償金ノ類ニシテ納入後物件ノ引渡ニ關係ナキモノ若クハ小林區署管轄外ヨリ起ル收入ハ徵收上便宜ノ地ニ在ル收入官吏ニ交付ス
 第八條 納入告知書ハ指定期限内ニ納入ヲシテ納金ト共ニ金庫ニ持込セシムヘシ金庫ハ之ニ對シ本訓令附屬書式ノ領收證ヲ發スルモノトス
 第十四條 大林區署長ハ收入官吏ヨリ送付シタル收入報告書ヲ取總メ明治二十二年八月大藏省令第十一號第五號書式ニ準シ毎月收入集計報告書ヲ製シ左ノ書類ヲ添ヘ翌月二十日マテニ之ヲ當省ヘ差出スヘシ
 一 收入官吏ノ毎月收入報告書
 二 收入金月計對照表
 三 未收入金仕譯表

○農商務省訓令第十二號

大林區署

明治二十三年二月農商務省訓令第五號出納官吏任命規程中左ノ通改正削除ス

農商務大臣伯耆後藤象二郎

第一條 中大林區署會計主務トアルヲ大林區署書記ト改ム
 第二條 小林區署收入官吏ハ小林區署位置ノ便否區域ノ廣狹納付金庫ノ關係等ヲ量リ毎小林區署ニ一名若クハ數小林區署ニ一名ヲ置キ小林區署所在地ニ在勤スル營林主事又ハ營林主事補ニ命スルモノトス
 第三條ヲ削除ス

〔參照〕

農商務省訓令第五號出納官吏任命規程(明治二十三年二月十二日)抄錄
 第一條 大林區署ノ收入官吏ハ大林區署會計主務ニ命スルモノトス
 第二條 小林區署ノ收入官吏ハ當該小林區署長ニ命ズルモノトス
 但甲小林區署長又ハ派出所首府署者ヲシテ乙小林區署長ヲ兼テシメタルトキ乙小林區署ノ收入官吏ハ別ニ營林主事補ニ命スルモノトス

第三條 派出所ノ收入官吏ハ當該派出所首府署者ニ命スルモノトス
 但甲派出所首府署者又ハ小林區署長ヲシテ乙派出所首府署者ヲ兼テシメタルトキ乙派出所ノ收入官吏ハ別ニ營林主事補ニ命スルモノトス

○內務省訓令第八號

警視廳 府縣 東京府

明治二十年六月警務省訓令第三十六號警察巡閱規則第二條中「四月五月ノ間ニ於テ」トアルヲ「一回」ト改ム

明治二十六年五月十八日

內務大臣伯耆井上馨

〔參照〕

內務省訓令第三十六號警察巡閱規則(明治二十年六月十一日)抄錄
 第二條 巡閱ハ毎年四月五月ノ間ニ於テ東京ニ在テハ警察本署長其他ノ府縣ニ在テハ警部長ヲ以テ之ヲ施行セシムヘシ

○文部省訓令第六號

北海道廳 府縣

一 官吏又ハ著名ノ人士地方來往ノ際學校生徒隊ヲ成シテ道路ニ送迎スルノ事アルカ爲ニ或ハ學課ヲ妨ケ又ハ無用ノ勞ニ涉ルコトアリ自今皇族ニ對シ又ハ其學校校長及教員ニ對スル場合ノ外公立學校校長及教員ハ生徒ヲ誘導シテ此等ノ行爲ヲナスコトアルヘカラス但シ特別ノ事情ニ由リ府縣立學校ニ於テハ知事郡市町村立學校ニ於テハ郡長又ハ市長ノ許可ヲ得タルトキハ例外トス
 二 學校生徒ノ遊歩運動ハ快活ノ氣象ヲ發フノ一端タリト雖鮮麗ノ旗幟及帽子等ヲ用非殊ニ女生徒ニ於テ盛粧ヲ競フカ如キハ爲ニ無用ノ費ヲ爲スニ至リ共ノ弊少シトセス校長及教員タル者宜シク注意ヲ加フヘシ

北海道廳長官府縣知事ハ右ノ趣旨ニ從ヒ管内公立學校校長及教員ニ訓令スヘシ
 明治二十六年五月二十二日 文部大臣井上毅

○内務省訓令第九號

賣藥行商鑑札ハ紙製ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ烙印ヲ朱印トナスヘシ
明治二十六年五月二十四日

道廳 府縣
内務大臣伯耆井上 馨

○大藏省訓令第十八號

北海道ニ於テ戸長又ハ水産物營業人組合納稅委員ヨリ金庫ニ拂込ム國稅金取扱方左ノ通心得ヘシ
明治二十六年五月二十五日

北海道廳 收入官吏 金庫出納役
大藏大臣渡邊國武

一戸長又ハ水産物營業人組合納稅委員ニ於テ領收シタル稅金ハ明治十五年第五十九號布告郵便條
例ニ據リ郵便爲替ヲ以テ之ヲ金庫ニ拂込ムコトヲ得

一前項ニ依リ拂込ヲ爲セントスルトキハ徵稅令書指定ノ金庫ニ宛テメル爲替證書ニ納付書ヲ添ヘ
書留郵便ヲ以テ之ヲ其金庫ニ送付シ而シテ金庫ヨリ別符付領收證ヲ得之ヲ收入官吏ニ送付シ別
符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ附フヘシ

一金庫ハ前項爲替證書納付書ノ送付ヲ受ケタルトキハ爲替證書ニ記載シタル拂渡シ郵便局ニ於テ
現金ヲ領收シ該納付書ニ接續セル別符付領收證ニ式ノ如ク記入捺印ノ上之ヲ拂込人ニ送付シ納
付書ハ金庫ニ留置クヘシ

一收入官吏ハ戸長又ハ水産物營業人組合納稅委員ヨリ別符付領收證ノ送付ヲ受ケタルトキハ領收
證ハ檢印シ別符ヲ切離シテ其領收證ハ之ヲ返付スヘシ

○大藏省訓令第十九號
北海道廳取扱ニ係ル諸收入ニシテ收入官吏ヨリ金庫ニ拂込ム收入金ハ明治二十六年五月當省訓令第
十八號ニ準シ取扱フコトヲ得

但本文訓令第一項及第四項中戸長又ハ水産物營業人組合納稅委員トアルハ收入官吏ニ第二項及
第三項中納付書トアルハ現金拂込書ニ第二項及第四項中收入官吏トアルハ監督官吏ニ適用ス

明治二十六年五月二十五日
大藏大臣渡邊國武

○内務省訓令第十號

醫師藥劑師產婆廢業死亡ノモノハ自今其屬ニ於テ免狀ヲ機案シ毎年十二月迄ニ届出ヲ受ケタル分
左ノ書式ニ據リ各別ニ調整シ翌年一月十五日限リ當省ヘ報告スヘシ

紛失等ニ依リ免狀返納セサルモノアルトキハ前項ノ期限ニ拘ハラズ事實ヲ詳記シ其都度報告スヘシ

明治二十六年五月二十六日
明治何年中何々廢業死亡者報告

道廳 府縣
内務大臣伯耆井上 馨

免狀番號	族	籍	氏	名	年	齡	死亡年月日
備考 本文第二項ノ報告ヲ爲シタルモノモ此表中ニ記入シ免狀番號欄内ニ紛失等ノ文字ヲ記 スヘシ							

○文部省訓令第七號

奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル公立學校職員ノ同官等又ハ同等級内ノ席次ハ俸
給額ニ依リ俸給額同シキトキハ任補ノ前後ニ依リ其他ハ高等官席次ノ例ニ依ルヘキ備ト心得ヘシ

明治二十六年五月二十九日

文部大臣井上 毅

○大藏省訓令第二十號

明治二十六年當省所管經費恩賞諸科目朱記ノ次ヘ左ノ通追加ス
明治二十六年五月三十日

北海道廳 府縣
大藏大臣渡邊國武

款	項	目
「恩賞請祿」	「軍人恩給」	學校職員恩給
		外國人恩給
「沖繩縣諸議」	「學校職員恩給」	外國人恩給
		外國人恩給

(内ハ朱書)

○海軍省訓令第一號
明治二十二年九月海軍省訓令第八號ヲ廢ス
明治二十六年五月三十一日

海軍一般 北海道廳府縣
海軍大臣伯備西郷從道

〔參照〕

海軍省訓令第八號(明治二十二年九月七日)抄錄
本年(省令第五號)海軍志願兵徵募細則第三條ノ志願人員表ハ第一様式ニ依リ調製ス(シ)
同細則第十七條ノ採用體裁ハ第二様式ニ依ル(ヘシ)又母約ヲ爲サシムルニハ第三様式ノ特約書ニ本人ヲシテ氏名ヲ記入シ捺
印セシム(ヘシ)
同細則第十九條ノ戶籍明細書ハ第四様式ノ用紙ニ記入セシム(ヘシ)
(様式略ス)

○農商務省訓令第十三號

本年七月一日現在株式會社ニ係ル左ノ事項ヲ取調ヘ同月十五日マテニ其地發送管省ヘ報告ス(ヘシ)
但各銀行及鐵道會社ハ除ク

北海道廳 府縣 沖繩縣

明治二十六年六月五日
農商務大臣伯備後藤象二郎

社名(商法施行條例第十條第三項ニ該當スル會社)
本店ノ位置
會社ノ目的
會社ノ資本額
一株ノ金額
拂込金額
會社ノ營業ニツキ官廳ノ許可ヲ受ケタルモノハ其業名並許可ヲ與ヘタル官廳名及其年月日

〔參照〕

法律第五十九號商法施行條例(明治二十三年八月八日官報)抄錄
第十條 既設株式會社ハ商法第五十六條ノ免許ヲ受ケルコトヲ要セス
既設株式會社ハ商法實施ノ日ヨリ六个月内ニ地方長官ヲ經山シテ定款ヲ主務省ニ送山シ其定款ノ認可ヲ受ク可シ但其定
款ニ法律命令ニ反スル事ヲ掲ゲタルモノハ之ヲ改正スルニ非サレハ認可スルノ限ニ在ラス
從來官許ヲ得テ設立シタル株式會社ニハ前項ノ規定ヲ適用セス但間置又ハ人民ノ相對ニ任ス等ノ指令ヲ得テ設立シタル
モノハ此限ニ在ラス
本條第二項ニ依リ認可ヲ受ク可キ株式會社ニ在テハ第五條ノ登記期限ハ其認可ヲ得タル日ヨリ起算ス
右ノ認可ヲ得タル日ヨリ六个月内ニ登記ヲ受ケサルトキハ其認可ハ効力ヲ失フ

廳府縣 集治監 假留監

○內務省訓令第十一號
明治二十二年八月內務省訓令第三十五號ヲ廢ス
明治二十六年六月六日

內務大臣伯備井上 馨

〔參照〕

內務省訓令第三十五號(明治二十二年八月十二日)抄録
監獄則第二十四條ニ依リ處分シタル代物ハ毎年四月三十日限り前二週年度ノ收支精算書ヲ調製シ當省ヘ報告スヘシ

○農商務省訓令第十四號

明治二十六年度當省所管臨時裁出獸疫費科目左ノ通相定ム

明治二十六年六月七日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

警視廳 北海道廳府縣 東京府

款	項	目	節
獸疫費	獸疫費		
		預防費	
		獸醫手當	
		評價人手當	
		獸醫旅費	
		消毒藥品	
		撲殺手當	

○農商務省訓令第十五號

明治二十三年ニ農商務省訓令第十號大林區署管内旅費規則左ノ通改正シ明治二十六年七月一日ヨリ施行ス

明治二十六年六月八日

大林區署

農商務大臣伯耆後藤象二郎

大林區署管内旅費規則

- 第一條 林區署管内旅費ハ此規則ニ據リ支給ス
- 第二條 大林區署管内旅行及ヒ小林區署員部外旅行ニハ甲號表ノ旅費ヲ支給ス
- 第三條 甲號表ノ旅費ヲ支給スルニ當リ一日ノ内普通旅行ト現場巡視ト交渉シタル場合ニ於テハ普通旅行ノ行程陸路ハ二里以上汽車ハ五哩以上汽船ハ五海里以上ナルトキハ之ニ應スル車馬賃汽車賃汽船賃及並日當ヲ支給シ其行程陸路ハ二里未満汽車ハ五哩未満汽船ハ五海里未満ナルトキハ三割増日當ヲ支給シ車馬賃汽車賃汽船賃ハ支給セズ
- 第四條 大林區署管内出張巡同中官林被害事件及出張巡同ノ用務ニ由リ臨時管外ニ出張シタルトキハ管外額ヲ支給セス甲號表ノ旅費ヲ支給ス
- 第五條 小林區署員小林區署部内ノ旅行ニハ乙號表ノ月額旅費ヲ支給ス
- 第六條 月額旅費ハ小林區署部内分擔區域ノ廣狹事務ノ繁閑ヲ量リ乙號表ノ等級内ニ於テ大林區署長豫メ毎小林區署ノ等級ヲ定メ農商務大臣ニ届出ヘシ
- 第七條 小林區署員一箇月中通常旅費月額ニアラノ支給ヲ受ケタル日數病氣其他ノ事故ニ依リ關勤シタル日數及新任轉勤甲乙小林區署員除ク非職廢官退官死亡等ニ由リ當該小林區署ニ勤務セザル日數ヲ通シテ十五日以下ナルトキハ當月分ノ月額旅費ハ全額ヲ支給シ十六日以上ナルトキハ半額ヲ支給ス
- 第八條 但一箇月中木項ノ日數ヲ通シテ該月ノ日數ニ滿ツルトキハ當月分ノ月額旅費ハ支給セズ
- 第九條 甲小林區署ヨリ乙小林區署ヘ轉勤ノトキ當月分ノ月額旅費ハ多キ方ヲ支給ス
- 第十條 甲小林區署員乙小林區署ヲ兼務シタルトキ其月額旅費ハ多キ方ヲ支給ス
- 第十一條 第七條 小林區署員臨時管外ニ出張シタルトキハ管外額ヲ支給セス甲號表ノ旅費ヲ支給ス

但裁判所ノ召喚ニ應シ又ハ大林區署長ノ命令ニ依リ管外ニ出張シタルトキハ此限ニアラス
 第八條 甲小林區署員乙小林區署ヲ兼務シ兼務地ニ旅行シタルトキハ其往復ノ手ノ地マテ及乙署御用者
 用費ノ地ニ限リ甲號表ノ旅費ヲ支給ス
 第九條 大林區署員山林原野調査費ノ支辨ニ關スル事業ノ爲メ旅行シタルトキハ甲號表ノ日當
 ミヲ支給ス
 但大林區署ヨリ御用者手ノ地マテ御用者ノ地ヨリ大林區署へ歸著マテ及甲地ノ御用ヲ終へ
 乙地へ移ルノ行程陸路ハ六里以上汽車ハ十哩以上汽船ハ十海里以上ナルトキハ此限ニアラ
 ス
 小林區署員前項ノ場合ニ於テハ部内外部ヲ問ハス甲號表ノ日當ノミヲ支給ス
 第十條 官行事業所詰員官行事業所ノ旅費ハ總テ小林區署員ニ準シテ支給ス
 但月額旅費ノ等級ハ事業ノ大小事務ノ繁閑等ヲ量リ亦事業所毎ニ之ヲ定ムルモノトス又事業所
 部内外ノ區域ハ其所在地ヲ管轄スル小林區署ノ區域ニ依ル
 第十一條 本規則ニ掲載ナキモノハ一般ノ規則ニ據ル

甲號表

等級	汽車		汽船		車馬		日當	
	一哩毎ニ	二海里毎ニ	一哩毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ	
一等	林務官	金五錢	金五錢	金拾貳錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓	
二等	技師	金四錢	金四錢	金拾錢	金八拾錢	金八拾錢	金八拾錢	
三等	判任官	金三錢	金三錢	金八錢	金六拾錢	金六拾錢	金六拾錢	
四等	雇員	金貳錢	金貳錢	金七錢	金四拾錢	金四拾錢	金四拾錢	

乙號表

等級	月額	金四圓	金三圓五拾錢	金三圓	金貳圓五拾錢	金貳圓
一等	金四圓	金三圓五拾錢	金三圓	金貳圓五拾錢	金貳圓	金貳圓
二等	金三圓五拾錢	金三圓	金貳圓五拾錢	金貳圓	金壹圓五拾錢	金壹圓
三等	金三圓	金貳圓五拾錢	金貳圓	金壹圓五拾錢	金壹圓	金壹圓
四等	金貳圓五拾錢	金貳圓	金壹圓五拾錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓
五等	金貳圓	金壹圓五拾錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓
六等	金壹圓五拾錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓
七等	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓
八等	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓
九等	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓
十等	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓	金壹圓

金庫出納役

○大藏省訓令第二十一號
 明治二十五年大藏省訓令第二十三號ニ據リ送金ノ取扱ヲナシタル集合仕拂命令及案内仕拂命令ハ
 明治二十二年大藏省訓令第七十二號第十九條一項ニ據リ整理シ第三號書式合計書中ニ編入保存ス
 但本項集合仕拂命令ニ屬スル金額氏名表並ニ債主ノ領收證書ハ別ニ毎月分ヲ取纏メ仕拂命令ニ
 添ヘ保存スヘシ
 明治二十六年六月二十七日
 大藏大臣渡邊國武

〔參照〕

大藏省訓令第七十三號金庫出納事務規程(明治二十二年十二月二十日)抄録
 第十九條第一項
 金庫ハ現金交付ノ仕拂命令及案内仕拂命令及現金前渡仕拂命令及現金前渡案内仕拂命令ノ内現金交付
 済ニ係ル受取人ノ領收證書及大藏大臣ヨリ送付ヲ受ケタル各省ノ定額展入令送付ヲ各年度各主管廳及各仕拂命令官等
 區分シ一箇月分ヲ取纏メ帳簿上ノ仕拂額及展入額ニ對シ第三號書式ノ合計書ヲ編製シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ
 關シセシモノハ其帳簿等ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ
 送付スヘシ
 大藏省訓令第二十三號(明治二十五年四月二十二日)抄録
 會計主務官ニ於テ金庫所在地外ニアル各債主ニ送金ヲ要スル證書アル集合仕拂命令(金庫所在地外ニアル債主ノ送金ヲ要スル
 主ニ送金スヘシ)ハ該命令附屬ノ金額氏名表申記帳ノ送金先場所ヲ調査シ該命令及金額氏名表ヲ金庫ニ送付シ規定ノ領收證書用紙ヲ債
 主ニ送付スヘシ
 金庫ニ於テ前項送金ヲ要スル集合仕拂命令及金額氏名表ヲ受ケタルトキハ金庫出納事務規程第十五條ニ依リ送金ノ手續ヲ
 ナスヘシ

○逓信省訓令第二號

明治二十三年逓信省訓令第二號電信柱敷地手當仕拂取扱順序左ノ通改定ス

明治二十六年六月二十九日

逓信大臣 伯喬 黒田 清隆

北海道廳 府縣

電信柱敷地手當金仕拂取扱順序

第一條 逓信大臣ハ電信柱敷地手當金仕拂概算額ヲ定メ明治二十二年勅令第八十九號ニ據リ北海道廳長官府縣知事ニ其仕拂ヲ委任ス

第二條 北海道廳長官府縣知事ハ仕拂委任額以内ニ於テ其管内ノ電信柱敷地手當金受領者ヘ交付スヘキ金額ノ仕拂命令ヲ發スヘシ

第三條 北海道廳長官府縣知事ニ於テ第一條ノ仕拂委任ヲ受ケタル金額ニ不足ヲ生シ仕拂ヲナシ難キトキハ其事由及金額ヲ具シ追加仕拂ノ委任ヲ逓信大臣ニ申請スヘシ

第四條 北海道廳長官府縣知事ニ於テ第一條ノ仕拂委任ヲ受ケタル金額ノ内減額スヘキモノアルトキハ其金額ヲ逓信大臣ニ申請スヘシ

第五條 過年度ニ係ル仕拂ヲ要スルトキハ第一號書式ニ據リ逓信大臣ノ承認ヲ承クヘシ

第六條 北海道廳長官府縣知事ニ於テ第二條ノ仕拂ヲナシタルトキハ會計主務官ハ會計規則第四十九條ノ報告ヲ翌月十五日マテニ其廳ヲ發シ逓信省ニ差出スヘシ

第七條 第二條ノ仕拂ニ對シ誤拂若クハ過渡アルトキハ北海道廳長官府縣知事ニ於テ歳入ノ取扱ヲナシタル後第二號書式ノ報告書ヲ調製シ逓信省ニ差出スヘシ

第八條 會計主務官ハ毎年度經過後會計規則第九十五條ニ照シ電信柱敷地手當金ノ計算書及證據書類ヲ逓信省ニ差出スヘシ

第九條 北海道廳長官府縣知事ハ前條計算書ト支出簿トノ符合ヲ認メタル保證書ヲ調製シ之ヲ逓信省ニ差出スヘシ

第十條 北海道廳長官府縣知事ハ第三號書式ニ依リ一過年度ノ支出明細書ヲ調製シ翌年度七月十日マテニ其廳ヲ發シ逓信省ニ差出スヘシ

第十一條 此取扱順序ハ明治二十六年度ヨリ施行ス
二十五年以前ニ係ルモノハ總テ従前ノ規則ニ據ルヘシ

(第一號書式)用紙類
濃紙 美

明 治 何 年 度
出 給 部 逓 信 費
過 年 度 支 出 金 額 明 細 書
何 廳

(第二號書式)

明治何年何月何日

逓信省何局長

逓信省何局長

何 廳

	千	百	十	元	角	分
逓信費						
逓信事業費						
電信線路保守費						
電信柱敷地手當 仕物場所某金庫						
電信本支 何國何郡何 一本ニ付	1	00	0			
柱何本 某外何人渡 金何程						
明治何年何月ヨリ同何年何月マ						
テ何箇月分何々ノ事由ニ依リ何						
年度中ニ於テ支出未済ノ積發見						
ニ付本年度ニ於テ過年度支出ヲ						
要スル分						
電信本支 何國何郡何 一本ニ付	0	80	0			
柱何本 某外何人渡 金何程						
明治何年何月ヨリ同何年何月マ						
テ何箇月分何々ノ事由ニ依リ何						
年度中ニ於テ支出未済ノ積發見						
ニ付本年度ニ於テ過年度支出ヲ						
要スル分						
				2	40	0
明治何年度過年度支出金額明細書面之	逓承認相成度候也					
	何廳長官 氏名印					
	逓信大臣宛					
	明治何年何月何日					

(第三號書式)

明 治 何 年 度

出 給 經 常 部 逓 信 費

一 週 年 度 支 出 明 細 調 査

何 廳

納 入	誤 拂 (過 渡) 金 額			
	千	百	十	圓
返 納 金 姓 名 年 額 1,000 圓 明 治 何 年 何 月 何 日 仕 拂 委 任 命 令 金 若 千 圓 〃 內 已 〓 仕 拂 費 〃 內 何 々 〃 事 由 〓 依 〓 誤 拂 (過 渡) 〓 爲 〓 過 剩 何 年 何 月 何 日 某 所 金 庫 〓 納 入				0 50 0
明 治 何 年 度 誤 拂 (過 渡) 金 額 書 面 之 通 何 廳 長 官 逓 信 大 臣 宛 明 治 何 年 何 月 何 日	取 入 計 候 也 氏 名 印			

要	電信柱數			金額	
	木柱	支柱	支線	圓	角
逓信費					
逓信事業費					
電信線路保守費					
電信柱敷地手當	仕拂命令 委任金額 100,000圓				
明治何年四月ヨリ同何年三月マテ十二箇月分					
何國何郡何某外人渡	40	15	10	240	0
何國何郡何某外人渡	80	10	8	1920	
明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何箇月分					
何國何郡何某外人渡	0	0	0	100	0
何國何郡何某外人渡	0	0	0	100	0
明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何箇月分					
何國何郡何某外人渡	0	0	0	100	0
合計	70	25	18	7320	
明治何年度歳出一週年度支出明細書面之	通候	也			
何廳長官氏	名印				
逓信大臣宛					
明治何年何月何日					

○陸軍省訓令甲第四號
陸軍召集旅費現金前渡ニ係ル出納ノ検査及責任解除ヲ會計検査院法第十六條ニ據リ明治二十六年度以降會計検査院ヨリ當省ヘ委託セシメテ之ヲ各師團監督部ヘ委任ス此旨心得ヘン
明治二十六年七月三日
陸軍大臣伯爵大山 巖

〔参照〕
法律第十五號會計検査院法(明治二十二年五月十日)抄錄
第十六條第一項
會計検査院ハ各官廳中一部ニ屬スル計算ノ検査及責任解除ヲ其ノ職ニ委託スルコトヲ得但シ其ノ検査ノ成績ハ該廳ヲシテ之ヲ會計検査院ニ報告セシムヘシ

○大藏省訓令第二十二號
明治二十六年五月勅令第五十八號第八條ノ工業用酒精ニ混和スヘキ木精(メチールアルコール)ハ其容器ニ内務省衛生試験所ノ試験済印紙貼附アルモノニ限り之ヲ使用スヘシ
明治二十六年七月四日
大藏大臣渡邊國武

〔参照〕
勅令第五十八號(明治二十六年五月三十一日)官報抄錄
第八條 工業用酒精ニ係ル發熱税ヲ免除ヲ請ハント欲スル者ハ販賣若クハ使用以前ニ管轄ニ其量數ヲ届出ワヘシ此場合ニ於テハ當該官吏ハ百分ノ八乃至十ノ割合ヲ以テ願入ノ送ニ從ヒ木精(メチールアルコール)若クハ石油ヲ混和ス(シ)但シ物品ノ費用ハ願入者ノ負擔スヘシ

○大藏省訓令第二十三號
明治二十四年勅令第五十五號第五條第十二條ニ據リ會計主務官差押命令假差押命令ヲ受ケタルトキハ普通ノ順序ニ據リ仕拂命令ヲ制定シ支出簿ニ登記ノ上其案内仕拂命令ヲ附屬ノ上ヨリ金庫ニ送付シ仕拂命令ハ裁判所ノ命令ヲ取立命令若クハ差押解除ノ通知ヲ受クルマテ會計主務官ニ於テ保管
明治二十六年七月 訓令 陸軍省甲第四號 大藏省第二十二號 第二十三號
會計主務官 金庫出納役
七

第四條 各官廳ヨリ保管金ヲ寄託スルニ由リ其官廳及取扱主任官吏ノ印鑑ヲ差出シタルトキハ爾後受渡ノ照合ニ供スルニシテ

第六條 補理者ヨリ取扱官廳ノ真書(細字)ヲシタル保管證書ヲ以テ拂戻ヲ要セハ其真書ノ印章ヲ印鑑ニ照合シ相違ナキヲ認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但し其證書及證書印ニ拂渡濟年月日ヲ記入スヘシ

第七條 各官廳ヨリ寄託シタル保管金ニシテ其官廳ノ拂戻金證明書(細字)ニ權利者ノ真書ヲシタルモノヲ以テ拂戻ヲ要セハ其證明書ノ印章ヲ印鑑ニ照合シ相違ナキヲ認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但し證明書ニハ拂渡濟年月日ヲ記入シテハシ

第十一條 取扱官廳ノ真書ヲシタル保管證書ヲ亡失シタルニ由リ保證人ノ調印シタル本人ノ事出書ニ取扱官廳ノ證明書ヲ添ヘ指出セハ其證明書ノ印章ヲ印鑑ニ照合シ相違ナキヲ見認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但し證明書ニ亡失ノ旨記載シ且拂渡濟年月日ヲ記入シ其事由書ニハ拂渡濟年月日金庫名保管證書ノ番號ヲ記入シ之ヲ中央金庫ヲ經テ預金局ヘ送附スヘシ

第十四條 各地金庫ニ於テ毎日受ケ入タル保管金ハ預金受渡事務順序第二十八條ニ據リ其拂戻金ハ同第二十九條ニ據リ取扱フヘシ

第十五條 保管金ヲ受入レタルトキ預金受渡事務順序第三十一條ニ據リ預金受入簿ニ記入スヘシ

第十七條 保管證書及保管金領收證書ノ記載ハ預金ノ記載ニ據リ其番號ハ預金通帳及定期預金證書ト區分シ別段ニ各交附スル順次ニ附スヘシ

第十九條 各金庫ニ於テ使用スル左ノ用紙ハ預金局ヨリ之ヲ下渡スヘシ

一 保管證書
一 保管金領收證書

○大藏省訓令第二十五號
出納官吏
營省所管出納官吏ヨリ會計検査院ヘ證明スル諸計算書、内譯書及明細書等ノ用紙ハ成ヘク摺沙引美濃紙ヲ用ユヘシ

但し綴代ノ餘地凡ソ一寸二分存置スヘシ

明治二十六年七月十三日
大藏大臣 渡邊 國武

○大藏省訓令第二十六號
出納官吏 金庫出納役
明治二十三年大藏省訓令第四十五號令文中「保證金ノ下ニ及身元保證金ノ代用公債證書」ノ十三

字「現金」ノ下ニ又ハ「證券」ノ四字ヲ加フ

甲號書式中「一金何程」ノ左方ヘ左ノ事項ヲ又「前書金額」ノ下ニ(又ハ公債證書)ノ括弧書ヲ加フ

又ハ

一 整理公債證書額面何程
内
何圓券 何第何番 一枚
同 同 同

明治二十四年大藏省訓令第二號第二項中「第十六號中第一號」トアルヲ「第四十四號中第二」ト改ム

明治二十三年大藏省訓令第十六號ヲ廢止ス

明治二十六年七月十三日
大藏大臣 渡邊 國武

〔參照〕

大藏省訓令第十六號(明治二十三年二月二十六日)抄録
明治二十三年大藏省訓令第二號出納官吏身元保證金取扱規則ニ據リ出納官吏ヨリ身元保證金ノ代用シテ記名公債證書ヲ金庫ヘ保管預ケ入レノ請求ヲナスモノアルトキハ各金庫ニ於テ左ノ順序ニ據リ之レヲ保管預リニナスヘシ(下略ス)

大藏省訓令第四十五號(明治二十三年三月二十四日)抄録
本年大藏省訓令第八號保管金取扱規則ニ據リ身元保證金ヲ寄託スルトキハ現金ニ左ノ書式ノ拂込書ヲ添ヘ拂込ムヘシ(書式略ス)

大藏省訓令第二號(明治二十四年一月十日)
出納官吏身元保證金代用記名公債證書ノ代リニ他人ノ記名公債證書ヲ以テ保管ノ請求アルトキ之レカ取扱方左ノ通心得ヘシ

一出納官吏ヨリ他人ノ記名公債證書ヲ差出ストキハ金庫ハ之レカ保管方取扱フヘシ但し本文他人ノ記名公債證書ヲ差出ス場合ハ其記名者本請ノ有無ハ金庫ノ關知スル所ニ非サルモノナレバ金庫ハ取ニ其公債證書ヲ保管スルニ止ルヘシ

一前項他人ノ記名公債證書ニアラハ明治二十三年大藏省訓令第十六號中第一號書式保管證書額面ノ脇ヘ所有主ノ氏名ヲ掲載シ其他ノ所有ナルコトヲ明カニスヘシ

明治二十六年七月 勅令 大藏省第二十六號

○大藏省訓令第二十七號

明治二十三年大藏省訓令第十六號ニ依リ金庫ニ於テ取扱フタル出納官吏元保證金ノ代用公債證書ハ本訓令到達ノ日ニ於テ保管證書ノ原符及書留簿ト共ニ預金部ノ取扱ニ移換ヲ爲スヘシ

○大藏省訓令第二十八號
明治二十六年七月二十日
貼用スル印紙離形ハ左ノ通但見本ハ別ニ之ヲ送付スヘシ

○内務省訓令第十二號

其教大教正藤岡好古同藤田時化雄今般神宮教事務取扱ヲ命シ職務ヲ處理セシム
神宮 教
內務大臣伯備井上 馨

○司法省訓令第一號

明治二十六年七月十九日
司法大臣芳川 顯正

〔參照〕

司法省令第九號釋義士試驗規則(明治二十六年五月十二日)抄錄
第九條第一項
庭部試驗ハ各控訴院ニ於テ之ヲ行フ但本立ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ行フコトアル可シ

○農商務省訓令第十八號

明治十八年八月當省達第三十三號巡迴教師設置ノ件廢止ス
北海道廳 府縣
農商務大臣伯備後藤象二郎

〔參照〕

農商務省第三十三號達(明治十八年八月六日)抄錄
農事ノ改良ヲ圖ランガ爲ニ左ノ條項ニ依リ農事巡迴教師ヲ設置候條此旨相達候事(條項略ス)

○農商務省訓令第十九號

農事試驗場本支場管轄區域當省告示第八號ノ通相定メ候ニ付テハ左ノ事項心得ヘシ
農商務大臣伯備後藤象二郎
北海道廳 府縣
一 農事講話ノ爲メ毎年本場及支場ノ技術官ヲシテ其管轄區域内ニ巡迴セシム
二 本場若クハ支場ヨリ農事講話ノ爲メ技術官派出ノコトヲ地方廳ニ通知スルトキハ其地方長官ハ豫メ講話ノ場所期日ヲ定メ場長若クハ支場長ハ打合ノ上其管内ニ告知スヘシ
三 巡迴講話若クハ品評會共進會審查等ノ爲メ旅費ヲ支辨シテ技術官ノ派出ヲ要スルトキハ其府縣所屬ノ本場若クハ支場ニ其旨ヲ移牒スヘシ
四 種苗ノ配付ハ本場若クハ支場ニ於テ配付ノ都度其旨官報紙上ニ廣告ス
五 土質種子肥料飼料等ノ鑑定並農事ニ關スル質問ハ其府縣所屬ノ本場若クハ支場へ申出ツヘシ
六 土質種子肥料飼料等ノ分析ニ關スル規程ハ追テ之ヲ定ム

○大藏省訓令第二十八號

明治二十六年七月當省訓令第二十二號內務省衛生試驗所ニ於テ木精(メチールアルコール)ノ容器ニ貼用スル印紙離形ハ左ノ通但見本ハ別ニ之ヲ送付スヘシ
北海道廳 府縣
大藏大臣渡邊 國武

中形印紙雛形

花形

形紋

色背



右印紙大中小ノ三種トス

○文部省訓令第八號

北海道廳 府縣

普通教育ノ必要ハ男女ニ於テ差別アルコトナク且女子ノ教育ハ將來家庭教育ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ現在學齡兒童百人中修學者ハ五十八強ニシテ其ノ中女子ハ僅ニ十五八強ニ過キス今不就學女子ノ父兄ヲ勸誘シテ就學セシムルコトヲ怠ラサルヘキト同時ニ女子ノ爲ニ其ノ教科ヲ益々實用ニ近切ナラシメサルヘカラス裁縫ハ女子ノ生活ニ於テ最モ必要ナルモノナリ故ニ地方ノ情況ニ依リ成ルヘク小學校ノ教科目ニ裁縫ヲ加フルヲ要ス裁縫ノ教員正當ノ資格アル者ヲ得難キノ場合ニ於テ一時雇員ヲ以テ之ニ充ツルモ妨ナシト雖其ノ人ノ性行ニ關シテ採用ノ際深ク注意ヲ加ヘンコトヲ要ス

右訓令ス

文部大臣井上毅

○農商務省訓令第二十號

府 縣 沖繩縣

商業會議所條例第三條但書ニ依リ敷市町村ヲ聯合シテ會議所ヲ設立セントスルノ申請ヲ受ケタルトキハ其聯合スヘキ各市若クハ各郡參事會ニ諮詢シ共意見ヲ徵スヘシ

農商務大臣伯耆後藤家二郎

○大藏省訓令第二十九號

北海道廳 府縣 沖繩縣

酒造稅則第一條印紙類賣下賣捌規則第七條及明治二十一年五月大藏省訓示官房第一〇七號ニ依リ保證又ハ抵當トシテ差出ス有價證券ハ明治二十三年三月大藏省令第八號保管金取扱規程第四條ニ從ヒ營業人ニ於テ大藏省預金局ニ寄託シ其保管證書ヲ管應ニ差出サシムヘシ但有價證券ノ利札切リ離レテ請求セントスルトキハ營業人ヨリ直ニ預金局ニ其下附ヲ請ハシムヘシ税金不納等ノ爲メ管應ニ於テ前項有價證券ノ拂戻ヲ要スルトキハ取扱主任ヲ權利者ト爲シ保管金取扱規程第十條及第十一條ニ依リ其拂戻請求ノ手續ヲ爲スヘシ

明治二十四年七月當省訓令第五十六號保管物取扱規程ハ自今廢止ス

大藏大臣渡邊國武

○大藏省訓令第三十號

今般各登記所ニ土地受帳簿本備付ノ備司法省ヨリ各地方裁判所へ訓令和成リタルニ付右際寫上ニ關スル裁判所ヨリノ請求ニ對シテハ成ルヘク便宜ヲ與フル様取計ヘシ

明治二十六年八月二日

大藏大臣渡邊國武

○内務省訓令第十三號

神佛各宗派管長ニシテ海外渡航ヲ要スル節ハ事實ヲ具シ當省へ伺出ツヘシ

明治二十六年八月十四日

内務大臣伯耆井上 啓

○文部省訓令第九號

北海通 府縣

第一 修身科ノ教育ニ於ケルハ神經ノ全身ニ貫通シ其ノ作用ヲ靈活ナラシムルニ同シク他ノ科目ト例視スヘキニアラス教員タル者ハ時ヲ以テ諄々訓告シ兒童ノ年齢及男女ノ別ニ從ヒ都鄙ノ風習各地人文ノ發達及生活ノ程度ヲ察シ又各人各個ノ性質ニ依リ精密ナル注意ヲ用非此ノ重要ナル教科ノ目的ヲ達スルコトヲ力ムヘシ故ニ修身ノ教ハ専ラ師道ニ由テ舉ルコトヲ得ヘク一掃ノ教科書ニ依頼シ數時間ノ誦讀ヲ以テ満足スヘキニアラサルナリ因テハ教科書ハ教員ノ資料ヲ助グル爲ニ必要トスヘシト雖地方ノ情況ニ從ヒ或ハ生徒ノ繁費ヲ省ク爲ニ尋常小學校ニ在リテハ各市町村學務委員ノ意見ニ依リ生徒用教科書ヲ用非スニテ專ラ口授法ヲ用非ルコトヲ妨ケサルヘシ

第二 教科書中ニ參照トシテ引舉スル所ノ古今ノ人ノ善行ハ兒童ヲシテ觀感興起セシムルノ益アリト雖或ハ矯激ニ流レ中庸ヲ失ヒ又ハ變ニ處スルノ權道ニシテ歴史上ノ美談ト爲スヘキモ以テ教育上ノ常經ト爲スヘカラサル者アリ各教員ハ教授ノ際普通教育ノ適當ナル範圍ニ注意シ及ブタケ偏弊ヲ避クルヲ要ス

右訓令ス

明治二十六年八月二十三日

文部大臣 井上毅

○陸軍省訓令甲第五號

北海道廳 府縣

明治二十年六月陸軍省訓令甲第九號軍馬購買委員規則第五條中「騎兵大尉」下ニ若クハ軍馬育成所長タル文官ヲ十三字ヲ加フ

明治二十六年八月三十一日

陸軍大臣 伯耆大山 巖

〔參照〕

陸軍省訓令甲第九號軍馬購買委員規則(明治二十年六月二十五日)抄錄
第五條 委員ノ編制ハ第三條ノ如シト雖トモ時宜ニ依リ騎兵大尉ヲ以テ 委員長ニ充テ文官ヲ委員ニ濫用シ且購買馬匹ノ宜少ナルトキハ委員及ヒ附屬員ヲ減スルコトアルヘシ

○農商務省訓令第二十一號

帝室御獵場ニ於ケル有害鳥獸ノ驅除捕獲ハ宮内省主獵局ノ吏員之ニ從事スルニ付主獵局長ヨリ豫メ照會アリタルトキハ六箇月ヲ一期トシ之カ照會ニ應シ共驅除捕獲シタル鳥獸ノ名稱及員數ハ御獵場監守長ヨリ報告ヲ受クヘキ儀ト心得ヘシ

明治二十六年九月二日

農商務大臣 伯耆後藤 象二郎

○第四回内國勸業博覽會事務局訓令第一號

共管下第四回内國勸業博覽會ノ出品ニ係ル一切ノ事務ヲ處理スル爲メ共廳官吏中便宜委員ヲ設クヘシ

但委員ヲ設ケ又ハ變更シタルトキハ其都度官氏名ヲ届出ヘシ

明治二十六年九月八日

北海道廳 府縣
第四回内國勸業博覽會副總裁 伯耆後藤 象二郎

○内務省訓令第十四號

官國幣社官司進退ノ儀ハ明治二十年當省訓令第二三八號第三項並二十五年當省訓令第四號第六條ノ旨モ候處自今官司權官司補免ノ儀ハ地方廳ノ撰舉稟申ヲ廢シ當省限リ處分ス

明治二十六年九月十二日

内務大臣 伯耆井上 馨

〔參照〕

内務省訓令第四號官國幣社神職試驗規則(明治二十五年三月十七日)抄錄
第六條 官司權官司進退ノ節ハ高等試驗合格證書ヲ添本大臣(蓋出スヘシ)

○大藏省訓令第三十一號

明治二十三年大藏省訓令第十八號附屬書式領收證書中其年度トアル上ニ「何廳發行」ノ四字ヲ加フ

明治二十六年九月十三日

會計主務官
大藏大臣 渡邊 國武

〔參照〕

明治二十三年七月二日大藏省訓令第十八號八會計主務官心得ナリ

○内務省訓令第十五號

明治二十五年當省訓令第四號官國幣社神職試驗規則條項中左ノ通改定増補ス

北海道廳 府縣 沖繩廳
内務大臣 伯備井上 馨

官國幣社神職試驗規則

第五條 試驗合格者高等試驗者ハ内務省ヨリ尋常試驗者ヘハ其屬府縣ヨリ及第證書ヲ付與スヘシ
尤合格者ト雖トモ其期ニ當テ人員ハ合格者中ヨリ選抜シテ之ヲ定ム其選ニ當ラサル合格者ハ
及第證書付與ノ日ヨリ三年ノ後ハ證書ノ效ヲ有セス

第十條中

三 滿三年以上判任官八級俸以上奉職セシ者

七 神宮權稱宜以上在職ノ者

第十一條中

二 滿二年以上判任官以上奉職セシ者

四 神宮宮掌以上在職ノ者

第十二條(左ノ但書ヲ加フ)

但明治二十五年三月以前ニ於テ滿五年以上官國幣社神職ヲ勤メ退職シタル者ハ試驗ヲ要セス
前職同等者クハ其以下ノ神職ニ補スルヲ得

〔參照〕

内務省訓令第四號官國幣社神職試驗規則(明治二十五年三月十七日)抄録
第五條 試驗合格者高等試驗者ヘハ内務省ヨリ尋常試驗者ヘハ其屬府縣ヨリ合格證書ヲ付與スヘシ

第十條 左ニ掲グルモノハ試験ヲ要セス直ニ官制官階ニ補スルコトヲ得
三 行政官吏判任官四等八級俸以上滿三年以上奉職セシ者
第十一條 左ニ掲グルモノハ試験ヲ要セス直ニ補任官ニ出付ルコトヲ得
二 行政官吏判任官以上滿二年以上奉職セシ者
第十二條 本規則施行前ヨリ在職ノ者ハ試験ヲ要セス其現職ニ在ルコトヲ得

○大藏省訓令第三十二號

金庫出納役

預金保管物及供託物金庫出納事務規程左ノ通相定メ本年十一月一日ヨリ施行ス

但明治二十三年當省第八百七十號達同年當省訓令第四十四號同年當省訓令第五十八號及同年當
省訓令第五百五十五號ハ本訓令施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十六年九月二十一日

大藏大臣 渡邊 國武

預金保管物及供託物金庫出納事務規程

第一章 總則

第一條 金庫ハ此規程ニ依リ預金保管物、供託物ノ計算整理ヲ爲スヘシ

第二條 金庫ハ預金、保管物、供託物ノ受渡ヲ爲シタルトキ總テ其證書類ニ受入若クハ抽出ノ年
月日及取扱金庫名ヲ記入シ置クヘシ

第三條 金庫ハ毎年四月ニ於テ預金受拂内簿簿ニ依リ前年四月一日ヨリ其年三月三十一日ニ至ル
一箇年度間ノ元加ニ爲スヘキ各自ノ預金利子ヲ算出シ之ヲ大藏省ヘ報告(第一號)スヘシ又其郵
便貯金ニ係ルモノハ逕信省ノ請求書ヲ以テ大藏省ヘ報告スヘシ

第四條 金庫ハ大藏省ヨリ預金利子元加ノ通知(第二號)ヲ受ケタルトキハ之ヲ預金受拂内簿簿及
日本銀行ヨリ受クル所ノ利子現金高ニ照合シ相違ナキヲ認メ各預ケ人ノ預金ニ元加ノ配入ヲ爲
スヘシ

金庫ハ預金ノ元加ニ爲スヘキ利子金ヲ日本銀行ヨリ受取リタルトキハ預金利子元加ノ通知書ニ

添付ノ領收證書用紙ニ記入調印ノ上之ヲ日本銀行へ送付スヘシ
 中央金庫ハ預金取扱規程第二十條ニ依リ公債證書ノ利子ヲ受入レタルトキハ中央金庫直接ノ取
 扱ニ係ルモノハ各預ケ人ノ預金ニ元加ノ記入ヲ爲シ共旨預ケ人へ通知スヘシ又各地金庫ノ取扱
 ニ係ルモノハ該利子金ヲ各地金庫へ送付シ各自預金ニ元加ノ記帳ヲ爲サシメ共旨取扱金庫ヲ經
 テ預ケ人へ通知スヘシ
 取扱金庫ハ前項ノ通知書ヲ得タルトキハ各預ケ人ノ預金ニ元加ノ記入ヲ爲シ通知書ハ預ケ人へ
 轉送スヘシ
 第五條 金庫ハ預金取扱規程第十五條及第二十一條ニ依リ預ケ人ヨリ預金通帳ヲ差出シ利子記入
 ノ請求ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ依リ其通帳ニ式ノ如ク記入調印シ之ヲ預ケ人へ返付
 スヘシ
 第六條 金庫ハ毎年三月三十一日ニ於ケル各預ケ人ノ預金貳千圓ヲ超過スルモノ、金額ヲ各預ケ
 人ニ區分シ翌月中之ヲ大藏省へ報告(第三號)スヘシ
 第七條 金庫ハ預金ヲ以テ公債證書購入ノ請求ヲ受ケタルモノニシテ其購入以前ニ現金拂戻ノ請
 求ヲ受ケルモ購入スヘキ金額ヲ引去リ其殘額拂戻請求額ヨリ不足スルトキハ其不足額ハ仕拂ヲ
 拒絶スヘシ
 第八條 金庫ハ預金取扱規程第五條第六條ノ公債證書購入済ノ通知書及同規程第七條ノ保管證書
 ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ請求者ノ預金額拂出ノ記帳ヲ爲シ保管證書ハ金庫ニ止メ置
 キ該通知書ハ預ケ人へ轉送スヘシ
 第九條 金庫ハ預金取扱規程第八條ニ依リ預ケ人ヨリ預金通帳ヲ差出シ保管證書交付ノ請求ヲ受
 ケタルトキハ該通帳ニ式ノ如ク記入調印シ保管證書ト共ニ之ヲ預ケ人へ交付スヘシ
 第十條 預金取扱規程第二十三條ニ依リ預ケ人ヨリ甲金庫ノ交付シタル預金通帳及印鑑ヲ添へ預

金取扱金庫換ノ申込書ヲ乙金庫ニ受ケタルトキハ乙金庫ハ預金受拂内譯簿ニ該預金引繼受ノ記
 帳ヲ爲シ該通帳ノ番記號ヲ書換調印シ之ヲ其預ケ人へ返付シ共旨直ニ甲金庫へ通知(第四號)ス
 甲金庫ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ該預金引繼拂出ノ記帳ヲ爲シ共旨乙金
 庫へ通知スヘシ
 乙金庫ハ甲金庫ヨリ前項ノ通知ヲ得サル前ニ預金拂戻ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ若シ該通知
 書ニ照合セサレハ事實明瞭ナリカトシ思惟スルトキハ該通知書ノ到達スルマテ仕拂ヲ猶豫シ
 置クヘシ
 第十一條 金庫ハ保管物取扱規程第十四條ニ依リ收入官吏ヨリ保管證書ヲ以テ歳入トシテ納付ヲ
 受ケタルトキハ保管金受拂内譯簿ニ該保管金拂出ノ記帳ヲ爲シ更ニ歳入へ受入ノ手續ヲ爲スヘ
 シ
 第十二條 金庫ハ保管證書ヲ發セサル保管金ノ期滿失効ニ至リタルモノアルトキハ毎月之カ調書
 (第五號)ヲ調製シ翌月中大藏省へ報告スヘシ
 金庫ハ保管物取扱規程第十四條大藏大臣ノ令達ヲ受ケタルトキハ保管金受拂内譯簿ニ該保管金
 拂出ノ記帳ヲ爲シ更ニ歳入へ編入ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十三條 金庫ハ保管物取扱規程第十六條ノ手續ヲ爲シタルトキハ保管金受拂内譯簿又ハ有價證
 券受拂内譯簿ニ朱書ヲ以テ舊保管證書ノ座ヲ拂ニ立テ更ニ新保管證書ニ依リ受入ノ記帳ヲ爲シ
 舊保管證書及其原符ニハ引換濟ノ年月日及新保管證書ノ番記號ヲ記入シ置クヘシ
 第十四條 金庫ハ保管物取扱規程第二十條ニ依リ證明書ノ請求又ハ保管證書領收證書交換ノ請求
 ヲ受ケタルトキハ之カ事由書ヲ徹シ其確實ナルヲ認メ證明書又ハ保管證書等交付ノ手續ヲ爲シ
 保管金受拂内譯簿又ハ有價證券受拂内譯簿ニ其旨記入スヘシ但舊保管證書又ハ領收證書原符ニ

ハ汚染若クハ毀損ニ付何年何月何日交換セシ旨及新證書ノ番記號ヲ記入シ置クヘシ

第十五條 金庫ハ供託物取扱規程第五條ノ送金手形若クハ爲替券ニ對スル現金ヲ領收シ能ハサルトキハ供託書ト共ニ之ヲ供託者ヘ返付スヘシ

第十六條 金庫ハ供託物取扱規程第七條ノ手續ヲ爲シタルトキハ之カ取扱ハ第十三條ノ例ニ準スヘシ

第十七條 中央金庫及本金庫ハ收入濟ニ係ル預金拂込書預金利子元加通知書各自預金購入保管公債證書ノ利子元加通知書預金取扱金庫換ノ申込書保管金又ハ有價證券ノ寄託通知書若クハ送付書供託書及其他ノ證書ハ預金^{供託物}預金^{供託物}ノ二種ニ區分シ一箇月毎ニ之ヲ編輯シ合計書ヲ添ヘ其帳簿ニ照査シ之ヲ保存スヘシ但中央金庫所屬支金庫ノ證書書類ハ中央金庫ニ本金庫所屬支金庫ノ證書書類ハ本金庫ニ取纏メ保存スヘシ

第十八條 中央金庫及本金庫ハ仕拂濟ニ係ル預金拂戻領收證書各自預金購入保管公債證書保管證書ノ領收證書預金取扱金庫換ノ通知書保管證書保管金又ハ有價證券拂渡證書受領ノ證書^{供託書}供託物領收證書供託物分割拂渡ノ領收證書送付取立命令書及其他ノ證書ハ預金^{供託物}預金^{供託物}ノ二種ニ區分シ一箇月毎ニ之ヲ編輯シ合計書ヲ添ヘ其帳簿ニ照査シ之ヲ保存スヘシ但中央金庫所屬支金庫ノ證書書類ハ中央金庫ニ本金庫所屬支金庫ノ證書書類ハ本金庫ニ取纏メ保存スヘシ

前項ノ證書書類ニ關係アル緊要ノ書類ハ本書ト共ニ保存スヘシ
第十九條 金庫ハ預金、保管金、供託金ノ出納ヲ爲スニ付此規程ニ記載ナキ計算整理及報告表提出期限等ノ條項ハ總テ一般ノ金庫出納事務規程ニ據リ取扱フヘシ

第二章 帳簿及計算報告

第一款 中央金庫

第二十條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿ヘ左ノ科目ヲ設ケ各内譯簿ノ合計額ヲ毎日登記スヘシ

貸方科目

- 一 預金
- 二 保管金(區分セズ一科目)
供託金ヲ以テ計算ス
- 三 預金利子仕拂元積立金
- 四 預金年度利益金
- 五 各自預金購入保管公債證書利子借方科目
- 六 預金運用
- 七 預金年度損失金

第二十一條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿其他諸帳簿ノ外預金、保管金、供託金ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ補助簿(第六號)ヲ備フヘシ

- 一 預金受拂内譯簿
 - 二 保管金^{供託金}受拂内譯簿
 - 三 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿
 - 一 有價證券受拂總括簿
 - 二 有價證券受拂内譯簿
- 本條ニ掲グル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケス紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第二十二條 預金受拂内譯簿保管金受拂内譯簿ハ中央金庫ニ於テ直接ニ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證憑書ニ依リ各本金庫及中央金庫所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各金庫毎ニ口座ヲ設ケ其集計表ニ依リ其受拂額ヲ登記シ差引殘額ヲ掲クヘシ

第二十三條 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿ハ中央金庫ニ於テ其保管公債證書ノ利子金ヲ受取リタルトキ其受入高ヲ登記シ中央金庫ニ於テ直接ニ取扱ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加高ヲ登記シ其支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記シ又各地本金庫ノ元加高ハ各共集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第二十四條 有價證券受拂總括簿ハ其集計表及内譯簿ノ締高ヲ以テ左ノ科目毎ニ受拂額ヲ登記スヘシ

- 一 供託 諸公債證書
- 二 供託 諸株券
- 三 供託 諸證券
- 四 各自預金購入保管公債證書
- 五 預金運用購入諸公債證書
- 六 預金運用購入諸株券

第二十五條 有價證券受拂内譯簿ハ中央金庫ニ於テ直接ニ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證憑書ニ依リ各本金庫及中央金庫所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各金庫毎ニ口座ヲ設ケ其集計表ニ依リ各種類毎ノ受拂額及枚數ヲ登記シ差引シテ其殘額ヲ掲クヘシ

第二十六條 中央金庫ハ第二十一條ノ諸帳簿ニ依リ左ノ諸集計表(第九號)ヲ調製スヘシ

- 一 預金受拂集計表

- 二 供託金受拂集計表
- 三 各自預金購入保管公債證書利子集計表
- 四 有價證券受拂集計表

第二十七條 預金受拂集計表及供託金受拂集計表ハ各其内譯簿ニ依リ中央金庫及各本金庫ヲ區分シ各其受入合計額及拂出合計額ヲ掲ケ毎日之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第二十八條 各自預金購入保管公債證書利子集計表ハ其内譯簿ニ依リ受拂合計額ヲ掲ケ毎日之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第二十九條 有價證券受拂集計表ハ有價證券受拂總括簿及其内譯簿ニ依リ種類毎ニ中央金庫及各本金庫ヲ區分シ有價證券受拂券面合計額及枚數ヲ掲ケ毎日之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第三十條 中央金庫ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ取扱フタル第十七條第十八條ノ證憑書類ニ依リ毎月左ノ證憑書類證明書(第九號)ヲ調製シ之ヲ各共帳簿ニ對照差違ナキヲ證明シ該證憑書類ヲ添ヘ大藏大臣指定ノ官吏ニ提出シ檢閱濟ノ證印ヲ受ケ證憑書ハ金庫ニ保存シ該證明書ハ中央金庫ノ毎月出納内譯書ニ添ヘ會計檢査院ヘ提出ノ爲メ大藏省ヘ差出スヘシ

- 一 預金部受拂證憑書類證明書
- 二 有價證券受拂證憑書類證明書

第二款 本金庫

第三十一條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿ヘ左ノ科目ヲ設ケ各内譯簿ノ合計額ヲ毎日登記スヘシ

- 一 預金
- 二 供託金(區分セズ一科目)
- 三 各自預金購入保管公債證書利子

第三十二條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿其他諸帳簿ノ外預金、保管金、供託金ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ補助簿(第十號)ヲ備フヘシ

- 一 預金受拂内譯簿
- 二 保管金受拂内譯簿
- 三 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿

本金庫ハ有價證券ノ保管出納ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ帳簿(第十一號)ヲ備フヘシ

- 一 有價證券受拂内譯簿

本條ニ掲ケル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケズ紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第三十三條 預金受拂内譯簿(保管金受拂内譯簿ハ本金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ其所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ本金庫ニ於テ取扱ヲナシタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第三十四條 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿ハ中央金庫ヨリ預金購入保管公債證書利子金ノ送付ヲ受ケタルトキ其受入高ヲ登記シ本金庫ニ於テ取扱ヲナシタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第三十五條 有價證券受拂内譯簿ハ本金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ其所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第三十六條 本金庫ハ第三十二條ノ諸帳簿ニ依リ左ノ諸集計表(第十二號)ヲ調製スヘシ

- 一 預金部受拂集計表(預金受拂額、保管金受拂額)
- 二 各自預金購入保管公債證書利子集計表

三 有價證券受拂集計表

第三十七條 預金部受拂集計表ハ各其内譯簿ニ依リ其受入合計額及拂戻合計額ヲ掲ケ毎五十ノ日ニ之ヲ中央金庫ヘ送付スヘシ

第三十八條 各自預金購入保管公債證書利子集計表ハ其内譯簿ニ依リ受拂合計額ヲ掲ケ毎五十ノ日ニ之ヲ中央金庫ヘ送付スヘシ

第三十九條 有價證券受拂集計表ハ其内譯簿ニ依リ有價證券ノ各種類毎ニ受拂券面ノ合計額及枚數ヲ掲ケ毎五十ノ日ニ之ヲ中央金庫ヘ送付スヘシ

第四十條 本金庫ハ本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ取扱ヲナル第十七條第十八條ノ證書ニ依リ毎月左ノ證書種類證明書(第九號)ヲ調製シ之ヲ各其帳簿ニ對照差違ナキヲ證明シ該證書種類ヲ添ヘ大藏大臣指定ノ官吏ニ提出シ檢閲濟ノ證明ヲ受ケ證書ハ金庫ニ保存シ該證明書ハ本金庫ノ毎月出納内譯書ニ添ヘ會計檢査院ヘ提出ノ爲メ中央金庫ヲ經テ大藏省ヘ差出スヘシ

- 一 預金部受拂證書種類證明書(預金受拂額、保管金受拂額)
- 二 有價證券受拂證書種類證明書

第三款 支金庫

第四十一條 支金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル諸帳簿ノ外預金、保管物、供託物ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ諸帳簿(第十號書式第一、第十一號書式第二)ヲ備フヘシ但預金、保管金、受拂内譯簿ハ便宜合冊ニ製シ口取ヲ以テ區分スルモ妨ケナシ

- 一 預金受拂内譯簿
- 二 保管金受拂内譯簿
- 三 有價證券受拂内譯簿

本條ニ掲ケル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケズ紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第四十二條 預金受拂内譯簿(保管金受拂内譯簿)ハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ之カ受拂額ヲ毎日登記シ差引殘額ヲ掲グヘシ

第四十三條 有價證券受拂内譯簿ハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ之カ受拂額ヲ毎日登記シ差引殘額ヲ掲グヘシ

第四十四條 支金庫ハ第四十二條ノ諸帳簿ニ依リ左ノ諸集計表(第二十條)ヲ調製スヘシ
一 預金部受拂集計表(預金受拂額(保管金受拂額))
二 有價證券受拂集計表

第四十五條 預金部受拂集計表ハ各共内譯簿ニ依リ共受入合計額及拂戻合計額ヲ掲ケ中央金庫所屬ノ支金庫ハ中央金庫(本金庫)所屬ノ支金庫ハ其本金庫(毎日)之ヲ送付スヘシ

第四十六條 有價證券受拂集計表ハ其内譯簿ニ依リ有價證券ノ各種類毎ニ受拂券面ノ合計額及枚數ヲ掲ケ中央金庫所屬ノ支金庫ハ中央金庫(本金庫)所屬ノ支金庫ハ其本金庫(毎日)之ヲ送付スヘシ

第三章 決算整理

第四十七條 金庫出納後ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎年度出納計算書(現金出納原簿)ニ依リ預金、保管金、供託金、預金利息仕拂元積立金及預金運用上ノ受拂額ヲ掲記スヘシ

第四十八條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納内譯書及毎月出納計算書(中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱フタル預金、保管金、供託金、預金利息仕拂元積立金、預金運用上ノ受拂額)ヲ現金出納原簿及内譯簿ニ依リ掲記スヘシ

第四十九條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納内譯書及毎月出納計算書(本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱フタル預金、保管金、供託金、預金利息仕拂額)ヲ掲記スヘシ

第五十條 支金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納内譯書(預金、保管金、供託金、預金利息仕拂額)ヲ掲記スヘシ

額ヲ掲記スヘシ

預金、保管金、供託金ノ受拂ニ屬スル證書類ハ前項ノ出納内譯書ニ添付スヘシ

第五十一條 金庫出納後ハ毎年度經過後四箇月以内ニ毎年度間ニ取扱フタル有價證券ノ出納計算書(第二十條)ヲ有價證券受拂總括簿(有價證券受拂内譯簿)ニ依リ調製シ會計検査院へ提出ノ爲メ大藏省へ差出スヘシ

第五十二條 中央金庫ハ有價證券受拂總括簿(有價證券受拂内譯簿)ニ依リ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱フタル有價證券ノ毎月出納内譯書(第二十條)ヲ調製シ第三十條檢閱濟ノ證書類證明書ヲ添付シ會計検査院へ提出ノ爲メ翌月十五日迄ニ之ヲ大藏省へ差出スヘシ

中央金庫ハ本金庫ヨリ送付セシ有價證券毎月出納内譯書ニ掲記アル有價證券ノ受拂額ヲ中央金庫ノ各帳簿ニ對照シ金庫出納後之ニ署名捺印シ直ニ會計検査院へ提出ノ爲メ大藏省へ差出スヘシ

第五十三條 本金庫ハ有價證券受拂内譯簿ニ依リ本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ取扱フタル有價證券ノ毎月出納内譯書(第二十條)ヲ調製シ第四十條檢閱濟ノ證書類證明書ヲ添付シ翌月十五日迄ニ中央金庫へ送付スヘシ

第五十四條 中央金庫ハ第五十二條第一項ニ準シ有價證券ノ毎月出納計算書(第二十條)ヲ調製シ翌月十五日迄ニ大藏省へ差出スヘシ又本金庫ノ有價證券毎月出納計算書ハ本金庫ヨリ中央金庫へ領收シタルトキ中央金庫ノ各帳簿ニ對照シ金庫出納後之ニ署名捺印シ直ニ大藏省へ差出スヘシ

第五十五條 本金庫ハ第五十三條ニ準シ有價證券毎月出納計算書(第二十條)ヲ調製シ翌月十五日迄ニ大藏省へ差出スヘシ

ニ中央金庫へ送付スヘシ
 第五十六條 支金庫ハ前條ニ準シ有價證券毎月出納内譯書(第十四式)ヲ調製シ各證憑書類ト共ニ翌
 月三日迄ニ其本屬金庫へ送付スヘシ

(内ハ孰モ朱筆)

第一號書式
 第何號 明治何年何月ヨリ明治何年何月マテ預金利子元加報告表

通帳記番號	預ケ人	利子額		事由
		圓	分	
何第何號 何第何號	何 菜	0	0	
	何 菜	0	0	
	合計	0	0	
	明治何年何月何日			
	又ハ 中央金庫			印
	又ハ 何地本金庫			印
	又ハ 何地支金庫			印

第二號書式
 第何號 預金利子元加通知書原符

一金何圓也

取扱金庫名

報告表番號

通知書發行年月日

日本銀行へ案内持送付年月日

第何號 預金利子元加通知書

一金何圓也

右ハ第何號利子元加報告表ノ各自預金ニ元加ヲ為スコトヲ要ス

年 月 日

何地金庫宛

大藏省主任局長 印

金庫 印

領收證書 一金何圓也

明治二十六年九月 勅令 大藏省第三十二號

右ハ第何號利子元加報告表ニ對スル金額正ニ領收候也

日本銀行本支店
又ハ其代理店宛

何地金庫 印

100

第三號書式
第何號 明治何年何月何日貳千圓以上預金額報告表

通帳記番號	預ケ人住所	預ケ人姓名	金額	
			圓	角
何第何號 何第何號	何々々	何 某某	0	0
		合計	0	0

明治何年何月何日
中央金庫 印
又ハ何地本金庫 印
又ハ何地支金庫 印

第四號書式

第五號書式
書

期滿失放	金額	
年月日	圓	角
年何何 月何何 日何何	0	0

金庫換通知書
一金何圓也
存預金通帳記番號
何團體社社教會
擔當者又ハ總代人氏名
右ハ預金取扱規程第二十三條ニ依リ金庫換取付候條此段及御通知候也
明治何年何月何日
何地金庫宛
何地金庫 印

明治二十六年九月 勅令 大藏省第三十二號

100

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

2.		1. 通帳記番號 住所姓名 中央金庫				
差引殘高		年月日	摘要	受入高	拂戻高	差引殘高
元	角			元	角	元
500	000	何何	預金利子元加	50	000	50
450	000	何何	受入	1,500	000	1,550
		何	拂戻		50	1,500
		何	公債證書利子元加	550	000	2,050

100

第六號書式ノ一

第何號		明治何年何月分 保管金時效調		
受入年月日	借書能番號	寄託官職名	保管金ノ事由	
何何	何第何號	何	何	何
				合計
				明治何年何月何日
				中央金庫印
				又ハ何地本金庫印
				又ハ何地支金庫印

預金受拂内譯簿

中央金庫

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

101

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第六號書式ノ二		8.	
保管金受拂内際簿		何 地 本	
中央金庫	年月日	摘 要	
	何何	受入 何年何月何日 報第何號	
	"	拂戻 " " " "	
<p>「備考」 保管金及供託金ノ内金貨アルトキハ其員額ヲ備考欄内ニ式ノ如ク記載スヘシ</p>			

一〇五

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

金 庫			中央金庫所屬何地支金庫				
受入高	拂戻高	差引残高	年月日	摘 要		受入高	拂戻高
圓 銭	圓 銭	圓 銭	何何	受入 何年何月何日 報第何號		圓 銭	圓 銭
1,500,000		1,550,000	何何	何日 報第何號		500,000	
	50,000	1,500,000	何	何日 報第何號			50,000

一〇四

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

金庫		1. 中央					
拂戻高	差引残高	年月日	証書 記番號	取扱處	寄託者又 ハ受取人	保管金若 クハ供託 金	摘 基ク所ノ法規
100,000	200,000 100,000	何何	何第何號	某 廳	何 某	保管金	
		何何	何第何號		何 某	保管金	
		何何	何第何號	某 廳	何 〃	供託金	何 〃

一〇七

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

1. 金庫						
要 必 要 ノ 事 由	期滿失效 年月日	受入高		差引残高		備 考
		年 月 日	額 種 別	額 種 別	額 種 別	
工事請負身元保證金			600,000		600,000	
警察官吏拾得金	何何何		400,000	50,000	400,000 350,000	内金貨何圓 内 〃 何圓
			500,000		500,000	

一〇六

明治二十六年九月 勅令 大藏省第三十二號

第六號書式ノ三		何 地 本	
各自預金勝入保管公債證券利子内繰渡		年月日	摘 要
		何何	受入 何年何月何日 報第何號
		" "	拂戻 " "
中央金庫			

一〇九

明治二十六年九月 勅令 大藏省第三十二號

金 庫			2. 中央金庫所屬何地支		
受入高	拂戻高	差引残高	年月日	摘 要	受入高
圓 銭 厘 550 000 0	圓 銭 厘 100 000 0	圓 銭 厘 550 000 0	何何	受入 何年何月何日 報第何號	圓 銭 厘 200 000 0
		圓 銭 厘 450 000 0	何	拂戻 " 何日 報第何號	

一〇八

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

金庫			中央金庫所屬何地支		
受入高	元加濟高	差引殘高	年月日	摘要	受入高
圓 分 厘	圓 分 厘	圓 分 厘	何 何		圓 分 厘
140000		140000	何 何	受入	50000
	140000	0	何 何	拂出 何年何月何日 報第何號	

二

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

金庫		中央金庫				
元加濟高	差引殘高	年月日	摘要	受入高	元加濟高	差引殘高
圓 分 厘	圓 分 厘	何 何		圓 分 厘	圓 分 厘	圓 分 厘
	50000	何 何	受入	450000		450000
50000	0	何 何	拂出		450000	0

一〇

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

2. 書		1. 保管諸公債證書 (保管諸株券) (保管諸證券)										
差引残高		年月日	摘要	受入高			拂戻高			差引残高		
枚數	券面額			枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額			
0	0	何	何	中央金庫ニテ受入	32	17,500.00	0	0	32	17,500.00	0	0
0	0	何	何	拂戻			2	630.00	30	16,870.00	0	0
		何	何	各本金庫ニテ受入	10	4,500.00	0	0	40	21,400.00	0	0
		何	何	拂戻			1	500.00	39	20,900.00	0	0

一三三

第七號書式ノ一

何 地 本	
年月日	摘 要
何	何
何	受入
何	拂出 何年何月何日 報第何號

有價證券受拂總括簿

中央金庫

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

一三三

第七號書式ノ二

有價証券受拂内譯簿

中央金庫

(備考)
一 証券種類ノ内公債証券ト株券ト二種ニ記載シアルトハ各其種類ノ座ヘ記載シ即番號ハ何第何號ノ内ト記載シ
二 証券種類ノ内公債証券ト株券ト二種ニ記載シアルトハ各其種類ノ座ヘ記載シ即番號ハ何第何號ノ内ト記載シ

3. 預金運用購入諸公債証券(預)

年月日	摘要	受入高	
		枚數	券面額
何何	納入令違書 何葉 拂出命令書 何葉	0	0

金運用購入諸株券

各自預金購入保管公債証券

年月日	摘要	受入高		拂戻高	
		枚數	券面額	枚數	券面額
何何	受入 拂戻	0	0	0	0

明治三十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

購入諸株券) 中央金庫				1. 保管諸公債證書 (保管諸株券) (保管諸供託)					
原高		差引殘高		年月日	證券記番號	取扱	寄託者又ハ受取人	保管者ハ供託	納基ノ所ノ法規
券面額	枚數	券面額	枚數						
0	0	0	0	何	何	何	何	何	何
0	0	0	0	何	何	何	何	何	何
				何	何	何	何	何	何

一七

明治三十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

證券) (各自預金購入保管公債證書) 中央金庫				1.			
要 必要ノ事由	種 類	受入高		拂戻高		差引殘高	
		枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額
何	何	15	15,000.00 0			15	15,000.00 0
何	何	5	500.00 0	1	100.00 0	4	400.00 0
	何	10	1,000.00 0			10	1,000.00 0

一六

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第何號		明治何年何月何日		保管金受拂集計表 供託金				第八號書式ノ二				第何號
摘要	買收支 年月日	受 入 高		拂 出 高		摘要	年月日	受 入 高		拂 出 高		摘要
		金額	更正納	金額	更正納			金額	更正納	金額	更正納	
中央金庫		1,700	00	0		中央金庫		150	00	0		中央金庫
何地本金庫	何 何	550	00	0		何地本金庫	何 何	100	00	0		何地本金庫
何地本金庫	何 何	0				何地本金庫	何 何	0				何地本金庫
合計		2,250	00	0		合計		250	00	0		合計
中 央 金 庫 印												

「備考」
中央金庫ノ集計表ハ中央金庫ニ於テ毎日記帳
ヲ了セシ金額ヲ掲グルルモノトス以下之ニ同シ

一一一

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第何號		明治何年何月何日		預金受拂集計表				第八號書式ノ一				4. 保管諸公債證書 (保供)	
摘要	買收支 年月日	受 入 高		拂 出 高		摘要	年月日	受 入 高		拂 出 高		摘要	
		金額	更正納	金額	更正納			金額	更正納	金額	更正納		
		2,600	00	0			何 何	100	00	0		受入何年何月何日 報第何號	
	何 何	1,550	00	0			" "	50	00	0		拂戻 " " "	
	何 何	0					" "	0					
		4,150	00	0				150	00	0			
中 央 金 庫 印													

一一〇

明治二十六年九月 明令 大藏省第三十二號

明治何年何月何日有價証券受拂集計表													
第何號		保管供託		債權証券		(保管供託)		(株券)		(証券)		第八號格式ノ四	
摘要	實收支 年月日	受 入 高				拂 出 高							
		枚数	券面額	枚数	正誤	枚数	券面額	枚数	正誤				
中央金庫	何何	32	17,000.00	0	0	2	600.00	0	0				
各地本	何何	10	4,500.00	0	0	1	600.00	0	0				
各地本	何何	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計		42	21,500.00	0	0	3	1,200.00	0	0				

中央金庫印

「備考」
「預金運用購入諸公債証券及諸株券各自預金購入
保管公債証券ノ分ハ本表ニ準シ調整スヘシ」

一三三

明治二十六年九月 明令 大藏省第三十二號

第八號格式ノ三							
第何號 明治何年何月何日各自預金購入保管公債証券利子集計表							
摘要	受 入 高		元 加 濟 高				
	金額	更正拂	金額	更正納			
各自預金購入保管公債証券利子	640.00	0	640.00	0			

中央金庫印

一三三

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第九號書式ノ二		明治何年何月分有價證券受拂證書類證明書							
第何號	摘要	受入高			拂出高				
		枚數	券面額	圓	角	分	圓	角	分
	國債證券	32	17,500	00	0	2	600	00	0
	株券	0	0			0	0		
	證券	0	0			0	0		
	合計	32	17,500	00	0	2	600	00	0
相候明		送付候條 及送付候條 何枚及送付候條 明治何年何月何日 中央金庫印 又ハ何地本 金庫印 官吏官氏名宛 檢閱ノ 官吏官氏名宛 之ニ付檢閱シ證書 送付候條 明治何年何月何日 檢閱ノ官吏官氏名印							
調候明		送付候條 及送付候條 何枚及送付候條 明治何年何月何日 中央金庫印 又ハ何地本 金庫印 官吏官氏名宛 檢閱ノ 官吏官氏名宛 之ニ付檢閱シ證書 送付候條 明治何年何月何日 檢閱ノ官吏官氏名印							

二五

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第九號書式ノ一		明治何年何月分預金部受拂證書類證明書					
第何號	摘要	受入高			拂出高		
		圓	角	分	圓	角	分
	預金	2,600	00	0	100	00	0
	金庫	0			0		
	金換	0			0		
	小計	2,600	00	0	100	00	0
	合計	1,700	00	0	150	00	0
	合計	4,300	00	0	250	00	0
相候明		送付候條 及送付候條 何枚及送付候條 明治何年何月何日 中央金庫印 又ハ何地本 金庫印 官吏官氏名宛 檢閱ノ 官吏官氏名宛 之ニ付檢閱シ證書 送付候條 明治何年何月何日 檢閱ノ官吏官氏名印					
調候明		送付候條 及送付候條 何枚及送付候條 明治何年何月何日 中央金庫印 又ハ何地本 金庫印 官吏官氏名宛 檢閱ノ 官吏官氏名宛 之ニ付檢閱シ證書 送付候條 明治何年何月何日 檢閱ノ官吏官氏名印					

二四

明治三十六年九月 訓令 大蔵省第三十二號

何 地 本 金						
取 扱 所	寄 托 者 又 ハ 受 取 人	保 管 金 若 クハ 供 託 金	摘 要		期 満 失 効 年 月 日	受 入 高
			基 所ノ 法 規	必 要ノ 事 由		
某 國	何 某	保 管 金		工 事 購 買 身 元 保 險 金	年 月 日	100,000
	何 某	保 管 金		人 民 拾 得 金	何 何 何	150,000
	何 某	”				
某 國	何 *	供 託 金	何 *			800,000

一三九

明治三十六年九月 訓令 大蔵省第三十二號

庫			第十號書式ノ二	
拂 戻 高	差 引 残 高	備 考	年 月 日	
			年 月 日	何 何 何
	100,000			
100,000	150,000	内 金 貨 何 圓		
	50,000	内 ” 何 圓		
	300,000			

何 地 本 金 庫

又 ハ

何 地 支 金 庫

「備考」
保管金及供託金ノ内金貨アルトキハ其額ヲ備考欄内ヘ如式記載スヘシ

一三八

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

本 金 庫			第十號書式ノ三
受入高	元加濟高	差引殘高	
千 百 十 元	千 百 十 元	千 百 十 元	
140000	140000	140000	各自預金購入保管公債證券利子内歸還
		0	
			何 地 本 金 庫

一三二

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

2.		何 地 支 金 庫			年 月 日	證 書 記 帳 號
年 月 日	摘 要	受入高	拂戻高	差引殘高		
千 百 十 元	千 百 十 元	千 百 十 元	千 百 十 元	千 百 十 元		
何 何	受入 何年何月何日 報第何號	0		0	何 何	何 何 何 號
何 何	拂戻 何日 報第何號		0	0	何 何	何 何 何 號
					何 何	何 何 何 號

一三〇

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

1. 何地本金庫						第十一號附式					
受入高		拂戻高		差引残高		受入高		拂戻高		差引残高	
枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額
0	500 00 0			0	500 00 0						
3	1,500 00 0			3	1,500 00 0			1	600 00 0	2	1,000 00 0
2	2,000 00 0			2	2,000 00 0						

有價證券受拂内課簿

何地本金庫
又ハ
何地支金庫

備考
一 証券一葉ノ内公債証券ト株券ト二種ニ分テ
シテアルトキハ各其種類ノ座(配券ト二種ニ分テ)
何第何號ノ内ト記述シ置ク(ハシ)

一三三

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

2. 何地支金庫						1. 何地							
年月日		摘要		受入高		元加減高		差引残高		年月日		摘要	
年	月	日		枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額	年	月	日	
何	何	何	受入	0				0		何	何	何	受入
何	何	何	拂出				0			何	何	何	拂出

一三三

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十三號

2. 保管諸公債證書 (保管諸株券) (保管諸證券) 何地支金庫

年月日	摘要	受入高		拂戻高		差引残高	
		枚數	券面額	枚數	券面額	枚數	券面額
何何	受入 何日 何年 何第 月何 何號	10	50000.0			10	50000.0
"	拂戻 " "			0	0	10	50000.0

一三五

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十三號

1. 保管諸公債證書 (保管諸株券) (保管諸證券)

年月日	証券記號	取扱處	寄託者又ハ受取人	保管者ハ供託	摘要		種類
					基ノ所ノ法規	必要ノ事由	
何何	何第何號	某	何	某	保管		何々
何何	何第何號		何	何	保管		何々
何何	何第何號	某	何	某	供託	何	何々

一三四

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

之 部		第十三號書式			
明治何年度					
有價証券出納計算書					
要	枚數	券 面 額			
		圓	錢	厘	毫
	0	0			
	42	22,000	00	0	
	0	0			
	0	0			
	0	0			
	0	0			
	0	0			
合 計	42	22,000	00	0	
金庫出納役					

一三九

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第十二號書式ノ三		何日 明治何年何月何日ヨリ何日マテ有價証券受拂集計表									
請 要	受 入 高					拂 出 高					
	枚數	券 面 額	圓	錢	厘	枚數	券 面 額	圓	錢	厘	
借 入 公 債 證 書	10	4,500	00	0	0	1	500	00	0	0	
借 入 株 券	0	0				0	0				
借 入 證 券	0	0				0	0				
合 計	10	4,500	00	0	0	1	500	00	0	0	
		明治	何年	何月	何日						
		又ハ	何	地	本	何	庫			印	
			何	地	支	金	庫			印	

一三八

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

第十四號書式	<p style="text-align: center;">何年何月分</p> <p style="text-align: center;">有價證券每月出納内譯書</p> <p>又ハ</p> <p style="text-align: center;">有價證券每月出納計算書</p>	<p>明治何年度有價證券出納計算書之面之 通り相違無之候也</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>金庫出納役</p> <p style="text-align: right;">日本銀行總裁氏名印</p> <p style="text-align: center;">會計検査院長宛</p>
<p style="text-align: center;">中央金庫</p> <p>又ハ</p> <p style="text-align: center;">何地本金庫</p> <p>又ハ</p> <p style="text-align: center;">何地支金庫</p>		

一四

拂 之 部			受		
摘 要	枚数	券 面 額	備		
保管 供託 諸 公 債 証 書	3	1,100 000			前年度より越高
保管 供託 諸 株 券	0	0			保管 諸 公 債 証 書
保管 供託 諸 証 券	0	0			保管 諸 株 券
預金運用購入諸公債証書	0	0			保管 諸 証 券
預金運用購入諸株券	0	0			供託
各自預金購入保管公債証書	0	0			預金運用購入諸公債証書
送引残翌年度へ越高	39	20,000 000			預金運用購入諸株券
					各自預金購入保管公債証書
合 計	42	22,000 000			

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十二號

一四〇

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十三號

拂 之 部						
摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計	
	枚 數	券 面 額	枚 數	券 面 額	枚 數	券 面 額
保 管 託 諸 公 債 證 書	2	600,000	0	0	2	600,000
保 管 託 諸 株 券	0	0	0	0	0	0
保 管 託 諸 證 券	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 諸 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 諸 株 券	0	0	0	0	0	0
各 自 預 金 購 入 保 管 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
小 計	2	600,000	0	0	2	600,000
翌 月 ~ 越 高	80	16,900,000	0	0	80	16,900,000
合 計	82	17,500,000	0	0	82	17,500,000

一四三

明治二十六年九月 訓令 大藏省第三十三號

受 之 部						
摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計	
	枚 數	券 面 額	枚 數	券 面 額	枚 數	券 面 額
何 年 三 月 三 十 一 日 越 高	0	0			0	0
保 管 託 諸 公 債 證 書	32	17,500,000	0	0	32	17,500,000
保 管 託 諸 株 券	0	0	0	0	0	0
保 管 託 諸 證 券	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 諸 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 諸 株 券	0	0	0	0	0	0
各 自 預 金 購 入 保 管 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
合 計	32	17,500,000	0	0	32	17,500,000

一四二

明治何年何月何日
 何 地 本 金 庫 印

明治何年何月分有價証券出納計算書(又ハ出納内課書)
 書面之通リ相違無之候也

金庫出納役
 日本銀行總裁 兵名 印

會計檢査院長 宛
 明治何年何月何日

是日以下ハ中央金庫ニ於テ直ニ取扱タルモノ及本金庫ヨリ送付セルモノニ對シ中央金庫ニ於ル署名式ニ對シ出納計算書ハ大藏大臣宛ニ調製スヘシ

〔參照〕 大藏省訓令明治二十三年三月二十四日第四十四號ハ保管金受渡事務順序同第十四號ハ各金庫預金報告順序同第十四號ハ第五十五號ハ供託物取扱順序ナリ

○内務省訓令第十六號

明治二十五年三月省訓令第二號看守部長ニ關スル規定ハ廳府縣監獄及集治監假留監ニモ適用スルコトヲ得

明治二十六年九月二十二日

內務大臣 伯耆井上 馨

〔參照〕

内務省訓令第二號(明治二十五年三月十四日)
 監獄支署ニ於テハ戒嚴上ノ監督ヲ補助セシムル爲ニ看守部長ノ職ヲ置キ月俸拾圓以上ノ看守ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
 看守部長ハ看守ノ上班トシ看守長ニ亞クノ待遇ヲ受クヘキモノトス
 看守部長ハ上表並外勤ノ左ノ職ニ兼職スルハ一ノモノニ限リ之ニ兼職ヲ付スヘシ

○内務省訓令第十七號

官國幣社ヨリ稟申ノ儀ハ明治二十年省訓令第十八號ノ旨モ候處自今宮司權宮司旅行ノ儀ハ共事故並日數地名等ヲ明記シ地方廳ヲ經テ省省へ稟請セシムヘシ

但父母病氣危篤ニヨリ難關事情ノモノハ地方廳限リ許可シ其旨報告スヘシ

明治二十六年九月二十七日

內務大臣 伯耆井上 馨

〔參照〕

内務省訓令第十八號(明治二十年三月二十五日)
 各社ヨリ省省へノ稟申及報告之儀本年三月限リ相廢ス同年四月以降派テ其地方廳へ申出ヘシ

○内務省訓令第十八號

神社ハ祭典祝日等ニ付闕ク可ラサル儀式モ有之且社頭管理上ニ就テモ亦夫々ノ要務有之神職ハ一切内外ノ社務ヲ併セ司ル管ニ付宮司權宮司ハ勿論禰宜主典ト雖モ官祭ヲ始メ月次祭典等謂ハレナク闕席不相成ノミナラス日々社頭又ハ社務所ニ於テ各其職務ニ從事スヘキモノニ有之候條神職一

同此趣旨ヲ體シ怠慢ノ所爲無之様訓示スヘシ
明治二十六年九月二十八日

内務大臣 伯爵井上 馨

○逓信省訓令第三號

共管下ニ於テ電氣營業取締規則又ハ電氣事業取締規則ニ依リ出願スルモノアルトキハ其都度本大臣ノ認可ヲ得タル後之ヲ許可スヘシ
但既ニ許可シタルモノハ本月三十一日迄ニ本大臣ニ報告スヘシ

明治二十六年十月十一日

逓信大臣 伯爵黒田清隆

○大藏省訓令第三十三號

明治二十四年大藏省訓令第四十八號恩賞諸職任拂取扱順序中左ノ通改正ス
但第五條ハ二十六年十二月三十一日限り之ヲ廢ス

北海道廳 府縣

明治二十六年十月十四日

大藏大臣 渡邊 國武

第六條 北海道廳長官府縣知事ニ於テ第二條ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ第一號書式ノ仕拂明細書ヲ
調製シ左ノ期限マテニ大藏大臣ニ差出スヘシ

但年度經過後整理期限内ニ仕拂ロタル分ハ一週年度ノ報告書ト共ニ差出スヘシ

四月ヨリノ分ヲ 七月七日迄ニ

六月ヨリノ分ヲ 七月七日迄ニ

七月ヨリノ分ヲ 十月七日迄ニ

九月ヨリノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ

十月ヨリノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ

十一月ヨリノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ

十二月ヨリノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ

一月ヨリノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ

第七條 第二條ノ仕拂ニ對シ觀拂若クハ過渡ヲ生シタルトキハ北海道廳長官府縣知事ハ其金額及
事由ヲ大藏大臣ニ報告シ該金ハ直ニ歳入ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 第三號書式ヲ第一號書式ニ書式中第二號書式ヲ廢シ第三號書式ヲ第二號トス

委任職高	
何々(款)	
何々(項)	何圓
何々(項)	何圓
自明治何年何月至同年何月支拂 命令濟之分書面之通候也 明治何年何月何日 何縣長官氏名 印 大藏大臣宛	
何々(款)	
何々(項)	
何々(目)	姓名
何々(節)	姓名
(金額ノ多クモ 少クモ下ノ如シ)	此上(下)半年分
何々(項)	
何々(目)	姓名
何々(節)	姓名
	此上(下)半年分又ハ第何期分
	新規下賜ニ依リ何年何月何日ヨリ ニ至ル分
何々(節)	某寡婦姓名
	某縣ヨリ轉入第何期分
何々(目)	姓名
何々(節)	姓名
	何々ニ依リ何年何月ヨリ何年何月
何々(節)	某孤兒姓名
	過年度支出何年度所屬第何期分
(本期以前ニ支拂フヘキ分ニシテ未済アル 未済ヲ以テ次ノ例ニ依リ掲載スヘシ)	
何々(項)	
何々(目)	姓名
何々(節)	姓名
	新規下賜又ハ何々ニ依リ何年 ヨリ何年何月何日マテ又ハ第

		明治何年度 歳出經常部恩賞諸祿 自明治何年何月至同年何月 仕拂明細書	
年額何圓			200.00.0
年額何圓	200.00.0		
年額何圓 何年何月	100.00.0		
年額何圓	50.00.0	350.00.0	
年額何圓 ニ至ル分	200.00.0		
年額何圓	50.00.0	225.00.0	575.00.0
總計 トキハ)			775.00.0
年額何圓 何月何日 何期分			100.00.0

(第一號書式) (用紙美濃紙)

何 廳

(一内ハ朱書)

〔參照〕

大藏省訓令第四十八號 應徵陸軍任取被服(明治二十四年五月十八日)抄録
第二條 北海道廳長官府縣知事ハ仕拂委任額以内ニ於テ主官ノ恩賞請願受領者ヘ交付スヘキ金額ノ仕拂命令ヲ發スヘシ
第五條 過年度ニ備ル仕拂要スルトキハ科目金額受領者氏名及ヒ其事由ヲ詳具シテ大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ
第六條 北海道廳長官府縣知事ニ於テ第二條ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ第一號書式ノ仕拂明細書ヲ調製シ翌月七日マテニ其
額ヲ發シ之ヲ大藏大臣ニ送スヘシ
第八條 北海道廳長官府縣知事ハ第三號書式ニ據リ一週年度ノ報告書ヲ調製シ翌年度七月十日マテニ其額ヲ發シテ大藏大
臣ニ送スヘシ
〔第二號書式ハ裁出經營部恩賞請願被服(過渡)金額報告ナリ〕

○內務省訓令第十九號

明治二十四年九月 內務省訓令第二十一號 巡查採用規則第一條但書左ノ通り改正ス但明治二十二年七月
訓令第三十號ハ廢止ス
但陸海軍現役滿期下士已上ノ者並巡查補助證書ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス
明治二十六年十月十八日 內務大臣 伯耆井上 馨

廳府縣 東京府 除ク

〔參照〕

內務省訓令第二十一號 巡查採用規則(明治二十四年九月三日)抄録
第一條 巡查ハ必試驗ノ上採用スヘキモノトス但巡查補助證書ヲ有スル者ハ此限ニアラス
內務省訓令第三十號(明治二十二年七月十七日)抄録
陸軍現役滿期下士ニシテ巡查志願ノ者ハ學術試驗ヲ要セス採用スルコトヲ得

○文部省訓令第十號

一 明治二十五年文部省訓令第五號ヲ廢ス
二 小學校ノ修身教科書ハ明治二十七年學年ノ始ヨリ之ヲ用井ルコトヲ得シムル爲ニ明治二十五年文部省訓令第八號ニ指定シタル期日ノ前ニ之ヲ審査探定スルコトヲ得
北海道廳 府縣

三 文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校唱歌教科書中ノ歌詞及樂譜ハ北海道廳長官府縣知事ニ於テ明治二十四年文部省訓令第二號ノ手續ヲ要セスシテ小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供セシムルコトヲ得

明治二十六年十月二十日 文部大臣 井上 毅

〔參照〕

文部省訓令第二號(明治二十四年十月八日)抄録
一 小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ特ニ其採擇ヲ慎ムヘキモノナルヲ以テ北海道廳長官府縣知事ニ於テ豫メ本大臣ノ認可ヲ經ヘシ但文部省ノ指定ニ係ルモノ及他ノ地方長官ニ於テ一旦本大臣ノ認可ヲ經タルモノハ此限ニ在ラス
一 前項唱歌用ノ歌詞及樂譜ハ漸次文部省ニ於テ豫定頒布スヘシ
文部省訓令第五號(明治二十五年五月五日)抄録
明治二十四年十一月 文部省訓令第十四號 小學校教科用圖書管理章等ニ關スル規則ニ依リ小學校教科用圖書ヲ新定若クハ更定シテ公布セントスルトキハ二箇月前ニ於テ其事由實施ノ時期圖書ノ目錄等ヲ具シ本大臣ニ報告スヘシ
文部省訓令第八號(明治二十五年十月二十五日)抄録
小學校修身教科用圖書ハ可成多數ノ圖書中ニ就キ最モ善長ナルモノヲ選擇スヘキ儀ニ付檢定費ノ圖書多ク出ルヲ俟テ明治二十七年四月以後ニ於テ之ヲ審査探定スヘシ

○大藏省訓令第三十四號

今般各區裁判所ニ土地臺帳簿本設備相成候ニ就テハ臺帳簿本調製後未登記ノ地所ニ付キ分合筆又ハ地番號及ヒ地目ノ變換其他流亡等ノ如キ異動ヲ生シタルトキハ臺帳所管廳ヨリ其地區ヲ管轄スル區裁判所又ハ區裁判所出張所ヘ通知セシムヘシ
明治二十六年十月二十三日 大藏大臣 渡邊 國武

○陸軍省訓令甲第六號

師團司令部 近衛師團司令部 除ク
道廳 府 縣 沖繩縣 除ク
明治二十六年十月 訓令 大藏省第三十四號 陸軍省甲第六號 一五一

徵兵令第二十七條ニ當ル者ハ翌年身體検査ヲ行ヒ一般徵兵同様取扱フヘキノ處輻重輸卒ニ限リ左ノ通取扱フヘシ

明治二十六年十月二十四日

陸軍大臣 伯耆大山 巖

一 疾病犯罪等ノ爲メ第三期ニ入營シ難キ者ハ身體検査ヲ行ハス直ニ所要人員ニ加ヘ其年新兵同時ニ入營セシムヘシ

共事故繼續シ若クハ再發シテ仍ホ次年第二期ニ至ルモ入營シ難キ者アルトキハ徵兵検査ノ際身體検査ヲ行ヒ其徵否ヲ判定スヘシ

二 毎年徵募事務終了後ニ在テ前項ニ當ル者アルカ爲メ其年所要人員超過スルトキハ第三期入營ノ時未番號ノ者ヨリ豫備徵員ニ繰下クヘシ

〔參照〕

法律第一號徵兵令明治二十二年一月二十二日官報抄録
第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵募ス

北海道廳 府縣

○文部省訓令第十一號

教育ハ政論ノ外ニ立ツヘキ者タルニ因リ學校教員タル者ハ明治二十二年十月九日文部省訓令明治二十五年十二月十五日内訓ノ旨ヲ注意スルコトニ怠ラサルヘシ

教育會ノ名稱ニ於ケル團體ニシテ純粹ナル教育事項ノ範圍ノ外ニ出テ教育上又ハ其他ノ行政ニ涉リ時事ヲ論議シ政事上ノ新聞雜誌ヲ發行スルハ一種ノ政論ヲ爲ス者ト認メサルヲ得ス因テハ其ノ團體ハ法律上ノ手續ヲ履ミ相當ナル政論ノ自由アルト否トニ拘ラス學校教員タル者ノ職務上ノ義務ハ此等團體ノ會員タルヲ許サハル者トス

明治二十六年十月二十八日

文部大臣 井上 毅

○内務省訓令第二十號

警視廳 府縣 假留監

明治十七年七月當省乙第三十號達聯合地方區分中元兵庫假留監聯合地方京都府大坂府滋賀縣奈良縣福井縣石川縣富山縣和歌山縣ヲ東京假留監聯合地方ニ兵庫縣鳥取縣島根縣岡山縣廣島縣山口縣徳島縣香川縣愛媛縣高知縣ヲ三池假留監聯合地方ニ改ム

明治二十六年十一月一日

内務大臣 伯耆井上 毅

〔參照〕

内務省乙第三十號達(明治十七年七月八日)抄録
今般各假留監設置セラレ候ニ付徒刑流刑及ヒ禁獄ノ刑ニ處セラレタル囚徒送致方及ヒ聯合地方ノ區分左ノ通相定候條此旨相違候事(下略)

廳 府 縣

○大藏省訓令第三十五號

大藏大臣 渡邊 國武

銀行並ニ貯蓄銀行出張所代理店ニ關スル取扱手續左ノ通心得ヘシ

明治二十六年十一月七日
一 銀行又ハ貯蓄銀行ニ於テ出張所其他何等ノ名義ヲ用フルニ拘ハラズ一定ノ場所ヲ設ケ銀行又ハ貯蓄銀行事業ノ全部若クハ其一部ヲ營ムトキハ其場所ヲ支店ト見做シ銀行條例施行細則ニ依リ其手續ヲ爲サシムヘシ

一 貯蓄銀行ニ於テ代理店ヲ置クトキハ契約書ヲ添ヘ届出ノ手續ヲ爲サシムヘシ

○大藏省訓令第三十六號

北海道廳 府縣

明治二十四年四月當省訓令第三十三號第二條中主稅局長トアルヲ官房第四課長ト改メ本月十日ヨリ施行ス

明治二十六年十一月八日

大藏大臣 渡邊 國武

〔參照〕

大藏省訓令第三十三號印紙類出納規程(明治二十四年四月九日)抄録
第二條 印紙類ノ出納ニ關スル命令ハ大藏大臣ノ委任ニ依リ大藏省ニ於テハ主稅局長府縣ニ於テハ府縣知事之ヲ掌ル

○農商務省訓令第二十二號

大林区署
明治二十六年六月當省訓令第十五號大林区署管内旅費規則第二條甲號表中「林務官」トアルヲ大林区署長ニ「技師」トアルヲ林務官ニ改正シ明治二十六年十一月十日ヨリ施行ス

明治二十六年十一月八日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

〔參照〕

農商務省訓令第十五號大林区署管内旅費規則(明治二十六年六月八日抄録)
第二條 大林区署管内旅行及ヒ小林区署管内旅行ニハ甲號表ノ旅費ヲ支給ス

甲號表中

等	級	汽車賃		汽船賃		馬賃		口	當
		一哩毎ニ	一海里毎ニ	一哩毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ		
一	等	林務官	金五錢	金五錢	金拾貳錢	金壹圓			
二	等	技師	金四錢	金四錢	金拾錢	金八拾錢			

○農商務省訓令第二十三號

御料地及御料牧場ニ於ケル有害鳥獸ノ驅除捕獲ハ宮内省御料局若クハ主馬寮ノ吏員之ニ從事スルニ付御料局長又ハ主馬頭ヨリ豫メ照會アリタルトキハ六箇月ヲ一期トシ之カ照會ニ應ジ其驅除捕獲シタル鳥獸ノ名稱及員數ハ御料地ニ在テハ御料局長及同局支廳長事務所長御料牧場ニ在テハ該牧場長ヨリ報告ヲ受クヘキ儀ト心得ヘシ

農商務大臣伯耆後藤象二郎

明治二十六年十一月十三日

○大藏省訓令第三十七號

明治二十六年度當省所管歳入科目表中ヘ左ノ通追加ス

北海道廳 府縣
大藏大臣渡邊國武

歳入經常部

租税ノ款末項ニ舊稅追納ノ項併量稅權衡稅ノ二目

免許及手数料ノ款免許及手数料ノ項ノ末位ニ無鐵質坑區稅有鐵質坑區稅ノ二目

官業及官有財産收入ノ款森林收入ノ項ノ末位ニ年賦及延納金ノ目

同款官有物貸下料ノ項ノ末位ニ居留地糶賃料ノ目

雜收入ノ款懲罰及沒收金ノ項ノ末位ニ罰俸ノ目

歳入臨時部

官有物拂下代ノ款ノ上位ニ獻納金ノ款防海費獻納金ノ項及目

雜收入ノ款返納金ノ項ノ末位ニ繰替貸雜種貸ノ二目

○大藏省訓令第三十八號

民有地地種變換ニ關スル事務ハ本年十二月一日以後收稅部ノ管掌ニ關セシムヘシ

府 縣沖繩廳
大藏大臣渡邊國武

○文部省訓令第十二號

實業補習學校規程ヲ發布シタルニ付訓令スルコト左ノ如シ

普通入民ノ情況ヲ察スルニ兒童ノ尋常小學ヲ終ル者退學ノ後職業ニ從事スルニ當リ又ハ遊戯ニ日ヲ移スニ當リ其ノ當テ學ヒ所ノ事務ヲ拋棄シ遺忘シテ其ノ用ヲ爲サハル者多シ凡ソ年少子弟未ク恒心アラサルノ時ニ於テ其ノ父兄ハ彼等ヲシテ縱令中等教育ヲ受ケシムルコト能ハサルモ其ノ尋常教育ヲ補充温習シ彼等カ將來ニ從事スヘキ生業ヲシテ稍ク價直アラシムルコトヲ冀望スルノ

情ニ切ナリ此ノ父兄ノ冀望ヲ助ケテ補習教育ヲ施スハ緊要ノ事タリ而シテ補習教育ハ中等又ハ高等教育ノ豫備門タルニ非ス寧ロ中等教育ヲ擴張スルノ意義ヲ避ケテ專ラ普通人民ノ生活ノ情態ヲ發達セシメ共ノ固有ノ地位ヲ保チ以テ稍々利益アル生業ヲ得シムルヲ目的トスヘシ此レ補習教育ニ於テ實業ノ知識技能ヲ授クルノ時機ヲ誤ラサルヲ要スル所以ナリ

且晩近宇内各國ノ富力ハ年一年ニ倍加シ進テ止マサルノ勢アリ此レ蓋科學盛ニ興リ其ノ發明ノ應用ヲ各般ノ實業ニ及ホシ細大ノ技術ヲ盡シ以テ百倍ノ生産ヲ收ムルニ外ナラス我カ國ハ方ニ文明ノ進歩ヲ見ルニ拘ラス此ノ科學ノ知識能力ハ未タ普通人民ニ浸潤セス教育ト勞動トハ割然トシテ殊別ノ界域ニ立チ農工諸般ノ事業ハ共ノ大部分ニ於テ仍舊習ニ沈溺スルコトヲ免レス今ニ於テ國家將來ノ富力ヲ進メントセハ國民ノ子弟ニ向テ科學及技術ト實業ト一致配合スルノ教育ヲ施スコトヲ務メサルヘカラス殊ニ普通教育補習ノ時機ニ於テ實業ニ須要ナル知識技能ヲ授クルコトヲ務メサルヘカラス此ノ事ハ既ニ輿論ノ認ムル所ニシテ方ニ自然發達ノ時機ニ遭遇シタリ

以上ノ理由ニ因リ小學校令ノ掲クル所ニ基キ省令ヲ以テ實業補習學校ノ規定ヲ發布シタリ

實業補習學校トハ實業ノ知識技能ヲ授クルト同時ニ小學ノ教育ヲ補習スル學校ヲ謂フナリ故ニ實業補習學校ハ義務教育ヲ終ヘタル兒童ノ爲ニ其ノ既ニ受ケタル教科ヲ補習繼續シ及實業ノ知識ヲ授クルノ二箇ノ目的ヲ以テ設クル者ナリ

實業教育ヲ實施スルニ於テ都鄙ノ別各地事情ノ各異ナルアリ決シテ畫一ノ概則ニ循由セシムヘカラス又一時ニ勸誘ノ力ヲ以テ推行スヘキニアラス寧ロ人民自然ノ發達ヲ助ケテ之ヲ順導スルノ方法ヲ取ルヲ要シ又地方ノ情況ヲ斟酌シ施行ノ緩急ヲ量ルニ注意スルヲ要ス

教授時間及季節ハ或ハ每週四時間ノ少キモアルヘク又二十時間ノ多キモアルヘク或ハ雪期ヲ利用シ或ハ農隙ヲ利用シテ以テ教授季節トナスカ如キ或ハ夜間ニ教授シ或ハ午後ニ教授シ或ハ日曜日ニ教授スルカ如キ要ハ生徒ノ作業ノ餘暇ヲ以テ教授受クルノ時ヲ予ヘ各地方ノ事情ニ從ヒ便宜ニ

法ヲ設クルニ在リ故ニ省令ハ是等ノ事ヲ一律ニ規定スルノ道ヲ避ケタリ

教科目ハ其ノ普通科目ニ於テハ成ルヘク實業ニ近切ナル資料ヲ各科ノ中ニ包含セシムルコトヲ務メサルヘカラス農業補習學校ヲ以テ之ヲ例セシムルニ讀本ハ重ニ農業ノ事物及事例ヲ説キ算術ハ重ニ農家ノ經濟ニ關ル課題ヲ教フルノ類ノ如シ共ノ實業科目ニ於テハ或ハ農業大意ヲ概説シ共ノ初步ヲ授ケ或ハ耕耘肥料土壤等ノ科目ヲ分詳講説スルカ如キ成ルヘク生徒ノ能力ニ應セシムル共ノ厭倦ヲ招クコトナキヲ務ムヘシ故ニ省令ハ又此等ノ點ニ向テモ一律ノ規定ヲ設クルコトヲ避ケ各地各校ノ便宜ニ任セタリ

學級編制ノ如キハ固ヨリ普通小學校ノ例ヲ推スヘキニ非ス蓋シ生徒ノ年齡長幼不同ニシテ其ノ既ニ受ケタル教育ノ程度モ亦甚種々ナルハ此ノ學校ノ特性タルコトヲ免レサルヘシ故ニ或ハ單級トシ或ハ級ヲ分チ或學科ニ就テハ上級ノ生徒ヲシテ下級ニ於テ教授ヲ受ケシメ下級ノ生徒ヲシテ上級ニ於テ教授ヲ受ケシムルカ如キ又此ノ學校ヲ管理スル者ノ便宜ニ活用スルヲ得ヘキ所ナリ

實業補習學校ハ學科ト作業勞動トヲ併セ教フルヲ主トスルモノニ非ス實業ノ學科ヲ教授シテ平易ノ解釋ヲ下シ生徒カ學校ノ外ニ在リテ實際ニ操作スル所ノ事物ト學校ニ於テ習フ所ノ學科ト反映照應シテ彼レ自ラ了得セシムルヲ以テ目的トス庶幾クハ農ノ子ハ農ヲ樂ミ工ノ子ハ工ヲ樂ムノ益アラシムルニ必要ニ依リ多少ノ作業ヲ授クルコトアルハ固ヨリ妨ケサル所ナリ

工業補習學校ニ於テハ圖畫ヲ以テ主要ノ教科ト爲サハルコトヲ得ス而シテ成ルヘク多クノ時間ヲ此ノ教授ニ充ツルヲ要ス但シ或ル工藝學校ヲ除ク外普通ノ工業ニ於テハ專ラ實用ニ適スルノ圖畫ヲ主トスヘク專門美術ヲ教フルハ其ノ目的ニ非サルナリ

實業補習學校ニ於テ尤モ困難ヲ感スル者ハ實業ニ關ル教師ノ不足ナリ文部省ハ種々ノ方法ヲ用井テ以テ此ノ困難ヲ將來ニ救済スルコトヲ怠ラサルヘシト雖各學校ハ或ハ實業專門ノ人ヲ囑託シ或ハ巡回教師ノ講演ヲ請ヒ或ハ小學教員ヲシテ講習ノ方法ニ依リ實業教授ヲ傳習セシムル等ノ方法

ニ依リ以テ目下ノ困難ヲ補足スルノ道ヲ取ルヘキナリ
尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ其ノ程度ニ當ル者又ハ高等小學校
育ノ半ヲ卒ヘタル者ヲ入學セシムルハ實業補習學校ノ自由タルヘシ但シ尋常小學校ヲ卒業セサル
者ハ其ノ已ニ學齡ヲ超エ他ニ就學ノ途ナキ者ヲ除ク外入學ヲ許サ、ルハ補習教育ヲ以テ義務教育
ヲ侵蝕スルコトヲ恐レテナリ
實業補習學校ハ各種類ニ依リ工業補習學校商業補習學校農業補習學校水産補習學校等ノ名稱ヲ取
ルコトヲ得ヘシ

凡ソ新規ニ屬スル事業ハ其ノ初ニ於テ施設ヲ誤リ一轉シテ廢止ニ歸スルカ如キコトアラハ後日再
ビ之ヲ設置スルノ機會ハ容易ニ得ヘカラサルニ至ラン故ニ實業補習學校ヲ設置スルニ當リ最慎重
ヲ加ヘ一地方ノ中必要ヲ感スル地ニ於テ先ツ之ヲ設置セシメ漸次他ノ地ニ及ボスノ方法ヲ取リ
多額ノ費用非ス簡易著實ヲ主トシ以テ十全ノ效果ヲ將來ニ收ムヘキハ特ニ地方長官ノ注意ヲ望
ム所ナリ

明治二十六年十一月二十二日

文部大臣井上毅

○內務省訓令第二十一號

警視廳 府 縣 集治監
土木監督署 衛生試驗所
臨時橫濱築港局

明治二十二年九月當省訓令第三十六號物品出納規程第二條第四條及第二十六條左ノ通改正ス

明治二十六年十一月二十四日

內務大臣伯爵井上 馨

第二條 本規程ニ部局長ト稱スルハ庶務局長警視廳監府縣知事集治監典獄臨時橫濱築港局長ヲ云
フ

第四條 本省庶務局用度課長警視廳監官房第二課長府縣內務部第四課長集治監第三課長臨時橫濱
築港局會計課長ヲ物品會計官吏トス但便宜ニ依リ各次席者ニ命シ又ハ各小支部局ニ該官吏ヲ任
クコトヲ得

第二十六條 物品出納ノ順序ハ部局長ニ於テ之ヲ定メ當省ヘ報告スヘシ

○大藏省訓令第三十九號

出納官吏 倉庫出納役

明治二十二年當省訓令第七十二號倉庫出納事務規程左ノ通改正ス

大藏大臣渡邊 國武

明治二十六年十一月二十四日

倉庫出納事務規程

第一章 總則

- 第一條 倉庫ノ事務ヲ分テ歲入部歲出部各特別會計ノ歲入歲出部雜部預金部ノ五部トス但各特
別會計ノ歲入歲出部及預金部ニ關シ特別ノ規程ヲ要スルモノハ別ニ定ムル所ニ據ル
- 第二條 倉庫ノ出納ハ大藏大臣ノ指定スル開庫時間内ニ於テス但各廳ノ請求ニ據リ臨時至急ノ仕
拂ヲ要スルトキ又ハ納期ニ際シ領收金額湊スルトキハ此限ニアラス
- 第三條 倉庫ニ於テ領收スル現金ハ其貨幣持券人ノ目前ニ於テ鑑定スヘシ但偽造摺收ノ通貨ヲ發
見シタルトキハ明治九年第五十七號布告ニ據ルヘシ
- 第四條 倉庫ニ於テ仕拂ニ用フル現金ハ其倉庫在合ノ通貨ヲ以テス但保管金供託金ノ類ニシテ
同種ノ貨幣ヲ以テ拂戻ヲ要スルコトアルトキハ此限ニアラス
- 第五條 倉庫ハ照較ニ供スル爲メ出納ニ關係アル官吏ヘ其印鑑及事務取扱主任者ノ印鑑ヲ差出ス
ヘシ

第六條 金庫ニ於テ仕拂上照較ニ供スル印鑑ハ各屬ヨリ直ニ關係ノ金庫ヘ送付ヲ受クルモノトス

第二章 歳入部

第七條 金庫ニ於テ納入ヨリ徵稅令書若クハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該徵稅令書若クハ納付書ニ接續セル領收證書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ別符ト接續ノ儘納入ヘ交付シ徵稅令書納付書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第八條 金庫ニ於テ納入ヨリ納入告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該納入告知書ニ接續セル領收證書及通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ納入ヘ交付シ其通知書ハ主任收入官吏ヘ送付シ納入告知書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第九條 金庫ニ於テ收入官吏ヨリ現金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該拂込書ニ接續セル領收證書及通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ該收入官吏ヘ交付シ其通知書ハ歳入ノ徵收ヲ監督スル官吏ヘ送付シ現金拂込書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第十條 金庫ニ於テ出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ監守證ニ送付書ヲ添ヘ受取リタルトキハ之ヲ保存シ置キ追テ歳出金ヘ振換ヲ爲ストキ該收入官吏ノ拂込ニ立テ第一號書式ノ領收證書及通知書ヲ調製シ其領收證書ハ該監守證ニ添ヘ受取人ヘ其通知書ハ歳入ノ徵收ヲ監督スル官吏ヘ送付スヘシ

第十一條 金庫ニ於テ前各條ニ據リ納入若クハ收入官吏ヨリ受領シタル徵稅令書、納付書、納入告知書、現金拂込書若クハ監守證ニ主任收入官吏某所屬分任收入官吏某ト記載シアル場合ニハ總テ主任收入官吏ノ計算トシテ取扱ハ第八條ノ通知書ハ分任收入官吏ヲ經テ主任收入官吏ニ送付スヘシ

スルモノトス

第十二條 金庫ハ現金收入濟ノ徵稅令書、納付書、納入告知書、現金拂込書及監守證ノ送付書(第十條ニ立テタ)其他ノ證憑書類ヲ各年度、主管廳、取扱廳及主任收入官吏毎ニ區分シ一箇月分ヲ取總メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證憑書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第三章 歳出部

第十三條 金庫ニ於テ大藏大臣ヨリ仕拂豫算若クハ共更定計算書又ハ年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ支出簿ニ登記スヘシ

第十四條 金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査スヘシ

第一 該命令ノ様式ニ違フコトナキヤ

第二 該命令ノ金額ヲ支出簿仕拂豫算ノ殘額ト照合シ仕拂豫算各項ノ金額ニ超過スルコトナキヤ

第三 集合仕拂命令ノ金額ハ該命令ニ添付シタル各債主ノ金額氏名表ノ金額ト違フコトナキヤ

金庫ハ集合仕拂命令及金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對シ受領ノ都度其領收證書ヲ仕拂命令官ニ送付スルモノトス

第十五條 金庫ハ前條第一項ノ調査ヲ爲シ該命令ヲ正當ト認ムルトキハ仕拂ノ準備ヲ爲スヘシ若シ不正當ト認ムルトキ若クハ該命令ノ汚損シテ其要部ヲ認メ難キトキハ共事由ヲ具シ直ニ之ヲ當該仕拂命令官ニ返付スヘシ

前項ノ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ノ員額及戻入額トノ合計ヲ帳簿上ノ仕拂命令受領簿額及戻入額ニ對査シ共ニ保存スヘシ

第四章 雜部

第二十四條 各廳出納官吏ノ職務上取扱フ所ノ現金ニシテ出納官吏現金取扱規則又ハ大藏大臣特別ノ命令ニ據リ金庫ニ於テ保管預リヲ爲スモノヲ雜部トス

第二十五條 各廳出納官吏ヨリ雜部保管金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込アリタルトキハ金庫ハ其現金ヲ領收シ第三號書式ノ保管證書ヲ調製シ之ヲ該官吏ヘ交付スヘシ

第二十六條 各廳出納官吏ヨリ案內引出切符ヲ受ケタルトキ金庫ハ該官吏ノ預ケ金額ニ照査スヘシ

左ノ場合ニ於テハ事由ヲ各廳出納官吏ニ告ケ其案內引出切符ヲ返付スヘシ

第一 案內引出切符ノ式ニ違フトキ

第二 案內引出切符ノ汚損シテ其要部ヲ明ニ認メ難キトキ

第二十七條 案內引出切符ノ金額該官吏ノ預ケ金額ニ超過スルトキ

キハ金庫ハ其案內引出切符ニ對査シ其金額ヲ交付スヘシ但現金交付ノ際引出切符及案內引出切符ノ表面ニ年月日現金交付済ノ旨ヲ記入シ置クヘシ

出納官吏現金取扱規則第四條ニ據リ資格氏名ノ通知ナキ官吏ヨリ預ケ金引戻ノ請求アルトキハ金庫ハ其所屬長官ノ證明書及適宜ノ領收證書ヲ徵シ之ト引換ニ現金ヲ拂戻スヘシ

第二十八條 案內引出切符ノ未ダ到着セサルトキ若クハ引出切符ノ該案內引出切符ト符合セサルトキ若クハ引出切符ノ汚損シテ案內引出切符ト照合シ難キトキハ其事由ヲ引出切符持參人ニ告ケ金庫ハ其仕拂ヲ拒ムヘシ

第二十九條 金庫ニ於テ受領セル案內引出切符ニシテ其發行日ヨリ三日ヲ過キ現金仕拂ノ請求ナキモノハ直ニ之ヲ出納官吏ニ返付スヘシ

第三十條 金庫ハ雜部保管金拂込書、現金交付済ノ引出切符其他ノ證書種類ヲ各廳出納官吏毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收支額ニ對査シ共ニ保存スヘシ但現金庫ニ於テ調製セシモノハ其證書書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ

第五章 現金運轉

第三十一條 金庫ニ於テ領收シタル現金ハ其金庫ノ仕拂基金ニ充ツヘシ

第三十二條 金庫出納役ハ各金庫ニ於テ仕拂フヘキ豫算額(毎年度ノ歲出仕拂豫算ヲ始メ總テ金庫トニ基キ金庫相互間ニ現金ノ運轉配賦ヲ爲シ常ニ仕拂ニ差支ナカラシムヘシ)

第三十三條 金庫出納役ハ毎日第四號書式ノ國庫金配賦表ヲ調製スヘシ

第三十四條 金庫出納役ハ毎月十日、二十日、末日ニ於ケル前條國庫金配賦表ヲ其翌日大藏省へ差出スヘシ

第三十五條 金庫ニ於テ取扱フヘキ陸軍師団兵豫備役後備軍艦員兵臨時召集旅費仕拂及爲替納金取扱等ニ係ル順序ハ別ニ定ムル所ニ據ル

金庫相互間現金運轉配賦ニ係ル諸帳簿及取扱順序ハ金庫出納役之ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六章 帳簿

第一款 中央金庫

第三十六條 中央金庫ハ現金ノ出納及歲出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第一 現金出納日記簿

- 第一 現金出納原簿
- 第二 各地本金庫現金出納内譯簿
- 第三 各地本金庫收支金報告額整理簿
- 第四 歳入金各廳内譯簿
- 第五 歳出金各廳内譯簿
- 第六 歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿
- 第七 雑部金内譯簿
- 第八 現金種類別簿
- 第九 支出簿
- 第三十七條 現金出納日記簿ハ計算報告若クハ各證憑書ニ據リ原簿計算科目毎ニ複記式ヲ以テ其收支額ヲ登記スヘシ其書式第五號ノ如シ
- 中央金庫ニ屬スル支金庫ノ收支ハ其報告表ノ中央金庫ヘ到着シタル日ニ於テ之ヲ登記シ該支金庫ニ於テ實際收支シタル日ヲ附記スヘシ
- 第三十八條 現金出納原簿ハ現金出納日記簿ヨリ轉記スヘシ其書式第六號ノ如シ
- 原簿計算科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三十九條 各地本金庫現金出納内譯簿ハ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送付スル收支金報告表ニ據リ其收支額ヲ登記スヘシ其書式第七號ノ如シ但金替及壹分銀アルトキハ特ニ其種類ヲ區分スヘシ
- 第四十條 各地本金庫收支金報告額整理簿ハ各年度歳入歳出歳出仕拂未済繰越金及雜部毎ニ之ヲ設ケ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送付スル收支金報告表ニ據リ其收支額ヲ登記シ置キ追テ毎月出納計算書ヲ受ケタルトキ之ヲ整理スヘシ其書式第八號ノ如シ

- 第四十一條 歳入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ各主管廳及取扱廳毎ニ主任收入官吏ヲ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳入金各廳内譯表ニ據リ其收入額ヲ登記スヘシ其書式第九號ノ如シ
- 第四十二條 歳出金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各主管廳及仕拂命令官毎ニ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳出金各廳内譯表ニ據リ其金額ヲ登記スヘシ其書式第十號ノ如シ
- 第二十條ニ據リ定額戻入アルトキハ中央金庫ニ係ルモノハ返納告知書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳出金各廳内譯表ニ據リ其金額ヲ朱書シテ現金仕拂額ヲ扣除スヘシ
- 第四十三條 歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各主管廳及仕拂命令官毎ニ細別シ第二十二條ニ據リ繰越額ヲ登記シ置キ追テ現金仕拂タルトキ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳出仕拂未済繰越金支出各廳内譯表ニ據リ現金仕拂額ヲ登記スヘシ其書式第十一號ノ如シ
- 第四十四條 雜部金内譯簿ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各廳出納官吏毎ニ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル雜部金收支内譯表ニ據リ其收支額ヲ登記スヘシ其書式第十二號ノ如シ
- 第四十五條 現金種類別簿ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル諸報告表ニ據リ其收支額ヲ集計登記スヘシ其書式第十三號ノ如シ
- 第四十六條 支出簿ハ各年度經常部臨時部毎ニ之ヲ設ケ各主管廳及仕拂命令官毎ニ各款項ヲ區分シ大藏大臣ヨリ仕拂豫算若クハ其更定計算書又ハ年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルトキ其金額ヲ登記シ置キ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要

スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ヲ受領セル都度仕拂命令受領濟額ヲ登記スヘシ其書式第十四號ノ如シ

第二十條ニ據リ定額戻入アルトキハ返納告知書ニ據リ其金額ヲ朱書シテ仕拂命令受領濟額ヲ扣除スヘシ

第四十七條 現金出納日記簿 現金出納原簿、各地本金庫現金出納内譯簿、歳出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿、雜部金内譯簿、現金種類別簿、各會計年度毎ニ之ヲ改訂シ、歳入金各廳内譯簿、歳出金各廳内譯簿、各地本金庫收支金報告額整理簿、支出簿ハ一會計年度ノ出納完結ニ至ル迄貫通シテ登記スヘシ

第二款 本金庫

第四十八條 本金庫ハ現金ノ出納及歳出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 第一 現金出納日記簿
 - 第二 現金出納原簿
 - 第三 歳入金各廳内譯簿
 - 第四 歳出金各廳内譯簿
 - 第五 歳出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿
 - 第六 雜部金内譯簿
 - 第七 現金種類別簿
 - 第八 支出簿
- 第四十九條 前條ニ掲グル諸帳簿ノ設置登記ニ關スル手續等ハ中央金庫ノ例ニ同シ
- 第三款 支金庫
- 第五十條 支金庫ハ現金ノ出納及歳出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 第一 現金受拂簿
 - 第二 歳入金各廳内譯簿
 - 第三 歳出金各廳内譯簿
 - 第四 歳出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿
 - 第五 雜部金内譯簿
 - 第六 支出簿
- 第五十一條 前條ニ掲グル諸帳簿ノ設置登記ニ關スル手續等ハ現金受拂簿ヲ除クノ外中央金庫ノ例ニ準ス
- 第五十二條 現金受拂簿ハ各證憑書ニ據リ其金額事由ヲ登記スヘシ其書式第十五號ノ如シ

本帳簿ハ各會計年度毎ニ改訂スルモノトス

第七章 計算報告

第一款 中央金庫

- 第五十三條 中央金庫ハ第三十六條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ
- 第一 税金領收日記表
 - 第二 歳入金月計對照表
 - 第三 歳出金月計對照表
 - 第四 歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表
 - 第五 雜部金月計對照表
 - 第六 收支金報告表
 - 第七 現金出納原簿計算表
 - 第八 仕拂命令受領濟額報告書

第五十四條 税金領收日計表ハ歳入金各廳内譯簿若クハ各證憑書ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ領收セシ金額ヲ掲ケ毎日之ヲ調製シ主任收入官吏ヘ報告スヘシ其書式第十六號ノ如シ但分任收入官吏ノ取扱ニ係ルモノハ該官吏ヲ經テ主任收入官吏ヘ報告スルモノトス

第五十五條 歳入金月計對照表ハ甲乙二葉トシ歳入金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ領收セシ金額(第六十九條第二項ノ場合ヲ指シ)ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(其月中ニ實際收入支金庫ヨリ送付スル歳入金突合表ヲ参照シ)翌月七日迄ニ主任收入官吏ヘ送付スヘシ其書式第十七號ノ如シ

前項ノ乙號表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ還付ヲ請フヘシ

第五十六條 歳出金月計對照表ハ甲乙二葉トシ支出簿及歳出金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ取扱ヒタル金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(報簿登記ノ日付ニ拘ハラズ仕拂命令受領額ハ該命令據リ之ヲ掲ケ仕拂高ハ實際該月中ニ)現金仕拂濟ノ仕拂命令(送金ニアラサル集)及第十九條ノ受取人領收證書ヲ添ヘ翌月五日迄ニ仕拂命令官ヘ送付スヘシ其書式第十八號ノ如シ

前項ノ乙號表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人領收證書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十七條 歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表ハ歳出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ支出セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(其月中ニ實際支出)現金仕拂濟ノ仕拂命令(送金ニアラサル集)及第十九條ノ受取人領收證書、大藏大臣令達書ヲ添ヘ翌月五日迄ニ當該官吏ヘ送付スヘシ其書式第十九號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人領收證書、大藏大臣令達書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十八條 雜部金月計對照表ハ雜部金内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ收支セシ金額ヲ掲ケ

毎月之ヲ調製シ(歳入及歳出金月計對)現金仕拂濟ノ引出切符ヲ添ヘ翌月五日迄ニ各廳出納官吏ヘ送付スヘシ其書式第二十號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟引出切符ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十九條 收支金報告表ハ現金出納原簿及各地本金庫現金出納内譯簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第二十一號ノ如シ

第六十條 現金出納原簿計算表ハ現金出納原簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第二十二號ノ如シ

第六十一條 仕拂命令受領額報告書ハ支出簿及中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ送付スル仕拂命令受領額報告書ニ據リ中央金庫及支金庫ニ於テ受領セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(報簿登記日付ニ拘ハラズ仕拂命令受領額ハ該命令ニ記載シタル)翌月十五日迄ニ毎月出納計算書ト共ニ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第二十三號ノ如シ

各本金庫ノ仕拂命令受領額報告書ハ各本金庫ヨリ中央金庫ヘ受領シタルトキ金庫出納役之ニ署名捺印シ各本金庫毎月出納計算書ト共ニ大藏省ヘ差出スヘシ

第六十二條 中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ送付スル歳入金突合表及仕拂命令受領額報告書ハ中央金庫ニ備ヘ置クヘシ

第二款 本金庫

第六十三條 本金庫ニ於テハ第四十八條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

- 第一 税金領收日計表
- 第二 歳入金月計對照表
- 第三 歳出金月計對照表
- 第四 歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表

- 第五 雜部金月計對照表
- 第六 收支金報告表
- 第七 現金出納原簿計算表
- 第八 仕拂命令受領額報告書
- 第六十四條 本金庫ニ於テ前條ニ掲ケル諸計算報告表ヲ調製スル手續等ハ收支金報告表ヲ除クノ外中央金庫ノ例ニ同シ但現金出納原簿計算表ハ本金庫ニ備ヘ置キ仕拂命令受領額報告書ハ翌月十五日迄ニ毎月出納計算書ト共ニ中央金庫ヘ送付スルモノトス
- 第六十五條 收支金報告表ハ現金出納原簿、現金種類別簿ニ據リ毎五十ノ日(日)末大ノ月ハ三十一(十九日)之ヲ調製シ中央金庫ヘ差出スヘシ其書式第二十四號ノ如シ
- 第六十六條 支金庫ヨリ送付スル歳入金突合表及仕拂命令受領額報告書ハ各本金庫ニ備ヘ置クヘシ
- 第三款 支金庫
- 第六十七條 支金庫ニ於テハ第五十條ノ帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ
 - 第一 税金領收日計表
 - 第二 歳入金突合表
 - 第三 歳出金月計對照表
 - 第四 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表
 - 第五 雜部金月計對照表
 - 第六 歳入金各廳内譯表
 - 第七 歳出金各廳内譯表
 - 第八 歳出仕拂未済繰越金支出各廳内譯表
 - 第九 雜部金收支内譯表

- 第十 仕拂命令受領額報告書
- 第六十八條 支金庫ニ於テ税金領收日計表、歳出金月計對照表、歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表、雜部金月計對照表及仕拂命令受領額報告書ヲ調製スル手續等ハ中央金庫ノ例ニ同シ但各廳證明済月計對照表及仕拂命令受領額報告書ハ翌月十日迄ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ
- 第六十九條 支金庫ハ歳入金各廳内譯簿若クハ各證憑書ニ據リ毎月歳入金突合表甲乙二葉ヲ調製シ(其月ノ實收)翌月三日迄ニ其收入ヲ取扱ヒタル分任收入官吏ヘ送付シ其乙號表ハ當該官吏ノ照合ヲ得テ還付ヲ請ヒ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十五號ノ如シ
- 支金庫ニ於テ直接ニ主任收入官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ヲ收入スル場合ニ於テハ第五十五條ノ例ニ據リ毎月歳入金月計對照表甲乙二葉ヲ調製シ(該官吏ノ取扱)翌月五日迄ニ該官吏ヘ差出シ其乙號表ハ該官吏ノ證明ヲ受ケ還付ヲ請フヘシ
- 第七十條 支金庫ハ歳入金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳入金各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十六號ノ如シ
- 第七十一條 支金庫ハ歳出金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳出金各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十七號ノ如シ
- 第七十二條 支金庫ハ歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳出仕拂未済繰越金支出各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十八號ノ如シ
- 第七十三條 支金庫ハ雜部金内譯簿ニ據リ毎日雜部金收支内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十九號

第一號書式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ 二枚 橫四寸五分ノモノ 二枚 縱三寸五分ノモノ 二枚 橫三寸五分ノモノ 二枚 採綴

第「何」號 「某」年 度 「主」管 廳

「經常(臨時)」何々(款) 何々(項) 何々(目)

「主收入官署名」
「主任收入官署名」
「主任收入官署名」

「金」何程

明治何年何月何日

符 號 收 領 證 書

第「何」號 「某」年 度 「主」管 廳

「金」何程

收入ノ目的

右領收候也

明治何年何月何日

「金庫」印

「主任收入官署名」
「主任收入官署名」
「主任收入官署名」

通 知 符

第「何」號 「某」年 度 「主」管 廳

「經常(臨時)」何々(款) 何々(項) 何々(目)

「金」何程

右領收濟ニ付通知候也

明治何年何月何日

「監督官吏官氏名宛」

「何地」金庫 印

「主任收入官署名」
「主任收入官署名」
「主任收入官署名」

第二號書式

拂未濟整年度ノ繰越金報告書

款 項	仕舞命令番號	仕舞命令發付年月日		金額	債主
		何 何 何	何 何 何		
何 何 何	第 何 號	何 何 何	何 何 何	0	何 某
何 何 何	第 何 號	何 何 何	何 何 何	0	何 某
何 何 何	第 何 號	何 何 何	何 何 何	0	何 某
何 何 何	第 何 號	何 何 何	何 何 何	0	何 某
			合計	0	
明治 何 何	何 何 何	何 何 何	何 何 何		

「第四號書式」
國庫金配賦表

代理店	要 金種類	現在額		配賦通 達額		使用不 便額		差引剩 餘額	
		圓	分	圓	分	圓	分	圓	分
日本銀行本店	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	補助銀貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	分銀貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	貨幣	0	0	0	0	0	0	0	0
	外國貨幣	0	0	0	0	0	0	0	0
	紙幣銅貨	0	0	0	0	0	0	0	0
日本銀行支店	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
何銀行	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
	金貨	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0
明治何年何月何日									
中央金庫									

「第四號書式」
面裏書證管保

本證書ハ保管領收ノ證トナルモノニシテ之レト引換ニ現金ヲ
仕拂フヘキモノニアラス

「第三號書式」
符原

用紙適宜横四寸五分ノモノニ枚綴綴

第	何	號	委託先	某縣出納官吏官氏名
第	何	號	委託先	某縣出納官吏官氏名
第	何	號	委託先	某縣出納官吏官氏名

「第一號書式」
右保管候也

明治何年何月何日
「某縣出納官吏官氏名宛」
「何地金庫」印

「第一號書式」
符原

明治何年何月何日
「某縣出納官吏官氏名宛」
「何地金庫」印

「第一號書式」
某年度歲出仕

経常	臨時	某縣	官氏名
経常	臨時	某縣	官氏名
経常	臨時	某縣	官氏名

第五號様式

現金出納日記簿

中央金庫

備考
一 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
二 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
三 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
四 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
五 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
六 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。
七 本表は、中央金庫の現金出納を記録するものとする。

(以下合計欄マナテ藍) 明治何年何月何日

金庫	仕拂算及仕拂元金				現金出納 簿別金庫 取引	雑部	預金部 取引額	合計	摘要
	取引	取引	取引	取引					
中央金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	中央金庫
大阪本金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	大阪本金庫
各地本金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	各地本金庫
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	

明治二十六年十一月 附令 大藏省第三十九號

貸 2.		借 1. (金印ハ蓋)		明治何	
原簿丁数	金額	原簿丁数	金額	原簿丁数	金額
532,800,000		1.	現金		
			某年度歳入外四件	532,800,000	
27,800,000					
15,000,000					
4,000,000					
570,600,000		5.	某年度歳入		
			中央金庫ニテ更正拂	1,800,000	
					532,600,000
			追次合計	1,800,000	532,800,000

一八三

明治二十六年十一月 附令 大藏省第三十九號

年何月何日		貸 1.	
原簿丁数	金額	原簿丁数	金額
5.	某年度歳入		
	中央金庫	5,000,000	
	何地支金庫 何年何月何日分 何種何額	5,000,000	
0.	某年度歳入	10,000,000	
	中央金庫ニテ訂正ノ上收入	1,800,000	
8.	某年度發行大藏省證券		
	中央金庫	500,000,000	
7.	雜部		
	中央金庫	10,000,000	
	何地支金庫 何年何月何日分 何種何額	1,000,000	
4.	某年度歳出	20,000,000	
	中央金庫ニテ定額戻入	1,000,000	
1.	現金		532,800,000
	某年度歳出外三件	27,800,000	
	追次合計	27,800,000	532,800,000

一八二

明治三十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

第六號書式																											
現金出納原簿	<p>2. 借 (△印ハ賸) 明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>原簿丁數</th> <th>前 葉 合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4. 某年度繰出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 中央金庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 何地支金庫 何年何月何日 何部何課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 雜 部</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 中央金庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 何地支金庫 何年何月何日 何部何課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 回 送</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 何地本金庫←同送</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 各地本金庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 某年度繰入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 某年度繰出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 何地本金庫 何年何月何日 何部何課</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	原簿丁數	前 葉 合 計	4. 某年度繰出		中央金庫		何地支金庫 何年何月何日 何部何課		7. 雜 部		中央金庫		何地支金庫 何年何月何日 何部何課		3. 回 送		何地本金庫←同送		2. 各地本金庫		某年度繰入		4. 某年度繰出		何地本金庫 何年何月何日 何部何課	
原簿丁數	前 葉 合 計																										
4. 某年度繰出																											
中央金庫																											
何地支金庫 何年何月何日 何部何課																											
7. 雜 部																											
中央金庫																											
何地支金庫 何年何月何日 何部何課																											
3. 回 送																											
何地本金庫←同送																											
2. 各地本金庫																											
某年度繰入																											
4. 某年度繰出																											
何地本金庫 何年何月何日 何部何課																											
中央金庫																											

一八五

明治三十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

治 何 年 何 月 何 日																									
現金出納原簿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>原簿丁數</th> <th>前 葉 合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,800,000.00</td> <td>532,800,000.00</td> </tr> <tr> <td>3,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8,000,000.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10,000,000.00</td> <td>27,800,000.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15,000,000.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,000,000.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>579,000,000.00</td> </tr> </tbody> </table>	原簿丁數	前 葉 合 計	1,800,000.00	532,800,000.00	3,000,000.00		5,000,000.00		8,000,000.00		7,000,000.00		1,000,000.00		8,000,000.00		10,000,000.00	27,800,000.00		15,000,000.00		4,000,000.00		579,000,000.00
原簿丁數	前 葉 合 計																								
1,800,000.00	532,800,000.00																								
3,000,000.00																									
5,000,000.00																									
8,000,000.00																									
7,000,000.00																									
1,000,000.00																									
8,000,000.00																									
10,000,000.00	27,800,000.00																								
	15,000,000.00																								
	4,000,000.00																								
	579,000,000.00																								
中央金庫	<table border="1"> <thead> <tr> <th>原簿丁數</th> <th>前 葉 合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.</td> <td>某年度繰入</td> </tr> <tr> <td> 何地本金庫 何年何月何日 何部何課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>各地本金庫</td> </tr> <tr> <td> 某年度繰出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	原簿丁數	前 葉 合 計	5.	某年度繰入	何地本金庫 何年何月何日 何部何課		2.	各地本金庫	某年度繰出															
原簿丁數	前 葉 合 計																								
5.	某年度繰入																								
何地本金庫 何年何月何日 何部何課																									
2.	各地本金庫																								
某年度繰出																									

一八四

明治三十六年十一月 附令 大藏省第三十六號

7. 雜 部										
年月日		摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	残	
何	何			圓	角	圓	角		圓	角
		中央金庫外一件	1.			20,000.00		貸	20,000.00	
		"	2.	8,000.00				"	12,000.00	

一九〇

明治三十六年十一月 附令 大藏省第三十九號

6. 某 年 度 歳 入										
年月日		摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	残	
何	何			圓	角	圓	角		圓	角
		中央金庫	1.			1,800.00		貸	1,800.00	

一九〇

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

貨 (壹分銀)					
借		貸		残	
圓	銭	圓	銭	圓	銭
0				0	

〔第七號書式〕

各地本金庫現金出納内譯簿

備考
大阪本金庫ニ係ル金種類ハ金貨、金貨、金貨、補助銀貨、壹分銀、紙幣、銀貨等ヲ區分スルモノトス

中央金庫

一九三

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

某年度發行大藏省證券 8.							
年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸
何	何		圓	銭	圓	銭	圓
	中央金庫	1.			500,000	000	貸
							500,000

一九三

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

(第八號舊式甲)		何地本金庫	
<u>某年度歳入</u>		年月日	摘要
<u>各地本金庫收支金額整理簿</u>		何	何 某年度歳入 何年何月何日分 総額何圓 某年度歳出 " " 総額何圓
<u>中央金庫</u>			

一九五

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

銀貨紙幣銅貨 2.			1. 何地本金庫 金		
借	貸	残	年月日	摘要	
圓 分 厘 15,000,000	圓 分 厘 4,000,000	圓 分 厘 15,000,000 11,000,000	何	何	何 何年何月何日分 総額何圓

一九四

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

何 地 本 金 庫						
年月日	摘 要	毎月出納計 算 書 年 月	收 入 額		毎月出納計 算 書 整 理 額	
何 何	納 何年何月何日 何何何號		圓	分	圓	分
			0			

一九七

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

1. 何 地 本 金 庫						
年月日	摘 要	毎月出納計 算 書 年 月	收 入 額		毎月出納計 算 書 整 理 額	
何 何	納 何年何月何日 何何何號		圓	分	圓	分
何 何	納 何年何月何日 何何何號		15,000	000		
何 何	更正拂 何何何號		0			
何 何	歳入整理額	何年何月			15,000	000

一九六

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

2. 本 金 庫				1. 何 地 本 金			
每月出納計 算書年月	支 出 額		每月出納計 算書整理額	年月日	摘 要	每月出納計 算書年月	
	圓	錢	圓	何	何 何年何月何日 何 何種何種 何 何種何種 何 何種何種	何年何月	

一九九

〔第八號書式乙〕

庫			
支 出 額		每月出納計 算書整理額	
圓	錢	圓	錢
4,000,000	0	4,000,000	0

某 年 度 歲 出

各地本金庫收支金報告額整理簿

中 央 金 庫

明治二十六年十一月 訓令 大藏省第三十九號

一九八